

新潟県建築国民健康保険組合 第二期データヘルス計画中間見直し

令和3年3月
新潟県建築国民健康保険組合

第1章 計画策定について	
1. 背景	3
2. 基本方針	4
3. データヘルス計画の位置づけ	5
4. 実施体制・関係者連携	5
5. 計画期間	6
第2章 現状と課題把握	
1. 保険者の特性把握	7
(1) 基本情報	7
(2) 医療費等の状況	10
2. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	11
(1) 特定健康診査	11
(2) 特定保健指導	12
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	13
3. 過去の取り組みの振り返りと評価	15
(1) 第2期データヘルス計画の各事業達成状況	15
4. 医療情報分析結果	19
(1) 基礎統計	19
(2) 高額レセプトの件数及び医療費	21
① 高額レセプトの件数及び割合	21
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	22
(3) 疾病別医療費	23
① 大分類による疾病別医療費統計	23
② 中分類による疾病別医療費統計	28
5. 保健事業実施に係る分析結果	33
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	33
(2) 特定健康診査に係る分析	34
(3) 特定保健指導に係る分析	38
(4) 健診異常値放置者に係る分析	40
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	42
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	44
(7) 受診行動適正化に係る分析	48
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	51
(9) 薬剤併用禁忌に係る分析	54
(10) 服薬情報に係る分析	56
6. 分析結果に基づく健康課題の把握	58
(1) 分析結果	58
(2) 分析結果に基づく課題とその対策	60
第3章 保健事業実施計画	
1. 各事業の目的と概要一覧	61
2. 全体スケジュール	63
3. 各事業の実施内容と評価方法	65

	(1) 特定健診受診率向上対策	65
	(2) 特定保健指導	66
	(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	67
	(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	69
	(5) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	71
	(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業	72
第4章	その他	
	1. データヘルス計画の見直し	73
	(1) 評価	73
	(2) 評価時期	73
	2. 計画の公表・周知	73
	3. 事業運営上の留意事項	73
	4. 個人情報の保護	73
年度別	特定健康診査結果分析	
	1. 有所見者割合	74
	2. 質問別回答状況	83
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	94
	2. 用語解説集	95
	3. 疾病分類表	96
	4. 中分類による疾病別医療費統計(全項目)	100

第1章 計画策定について

1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちにに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、加入者の健康維持増進を図る。

2. 基本方針

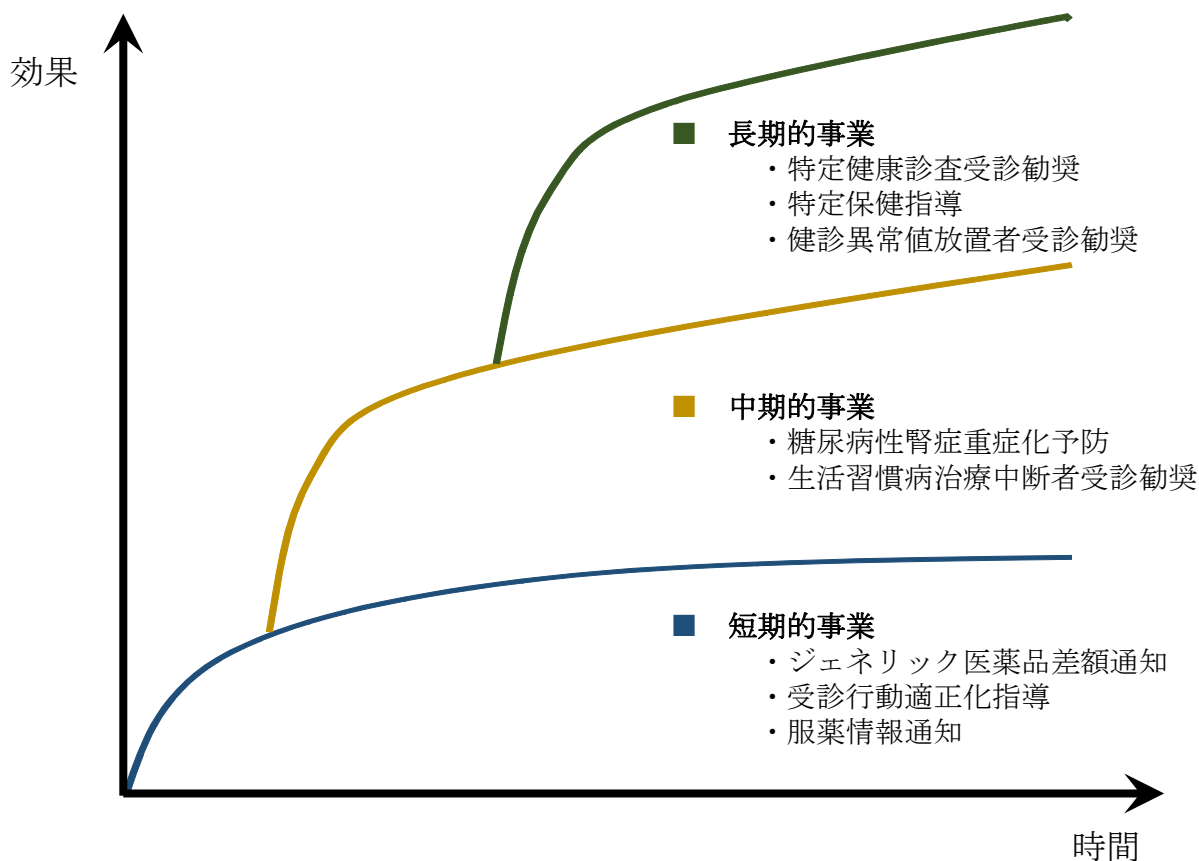
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生源となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を新潟県建築国民健康保険組合の実情に合わせて、効率良く実施する。



3. データヘルス計画の位置づけ

データヘルス計画とは、PDCAサイクルに沿った効率的かつ効果的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画である。計画の策定及び評価に当たっては、健康診査・レセプト等のデータを活用する。

4. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(医療、福祉等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、学識経験者、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会等の保健医療関係者等の外部有識者や加入者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、所属所向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、事業主である地方公共団体等の協力の下、加入者が主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ

平成29年度～平成31年度(3年分)

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

年度分析

平成29年度…平成29年4月～平成30年3月診療分(12カ月分)

平成30年度…平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)

平成31年度…平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)

- ・ 健康診査データ

単年分析

平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

年度分析

平成29年度…平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)

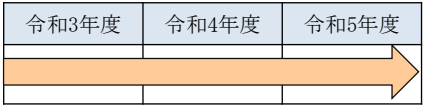
平成30年度…平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)

平成31年度…平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)

5. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、令和3年度から令和5年度の3年間とする。

■ 計画期間



第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本組合の平成31年度における、人口構成概要を以下に示す。国民健康保険組合員数は18,337人で、国民健康保険組合員平均年齢は42.4歳である。

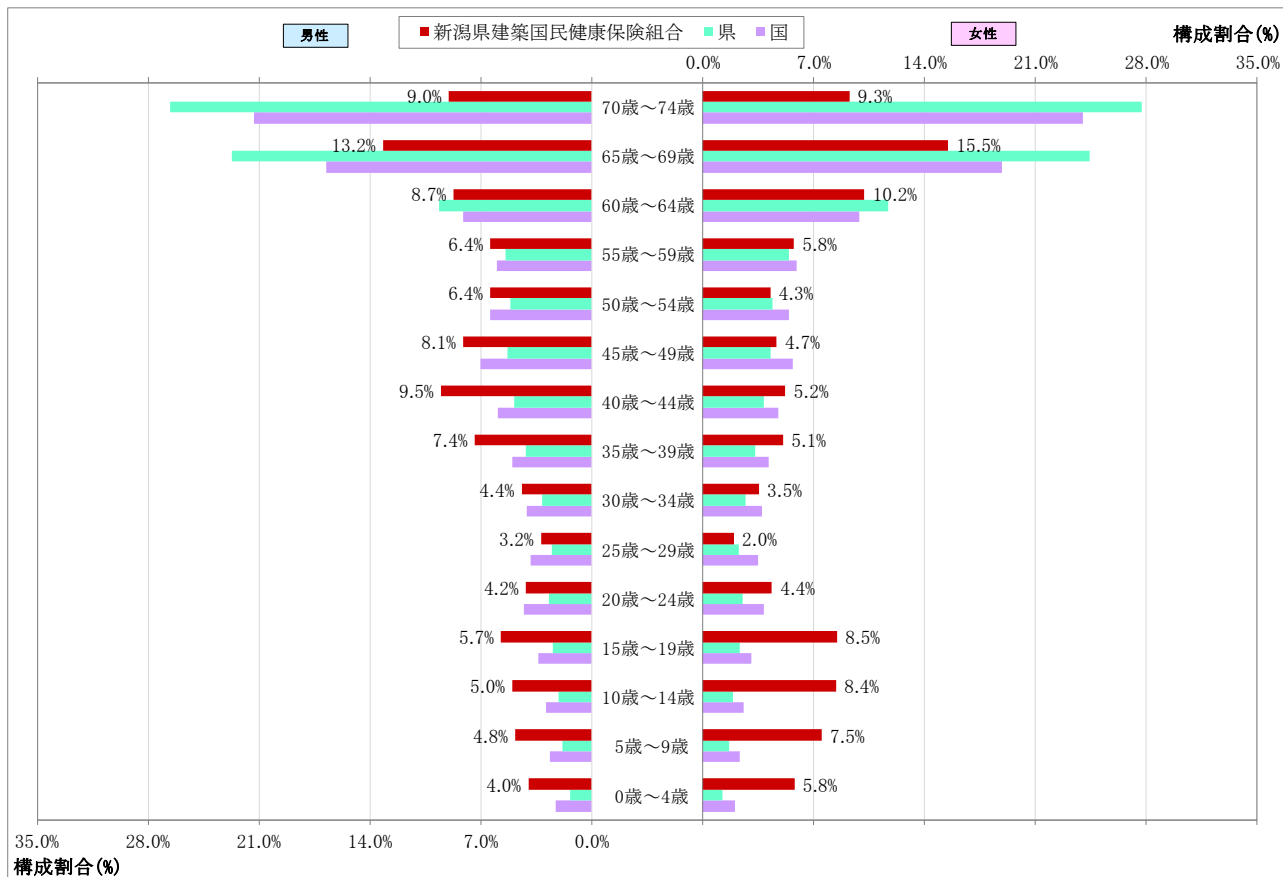
人口構成概要(平成31年度)

	国保組合員数 (人)	国保組合員 平均年齢(歳)
新潟県建築 国民健康保険組合	18,337	42.4
県	482,177	56.1
同規模	17,454	39.1
国	29,893,491	51.6

※「県」は新潟県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 組合員数構成割合ピラミッド(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

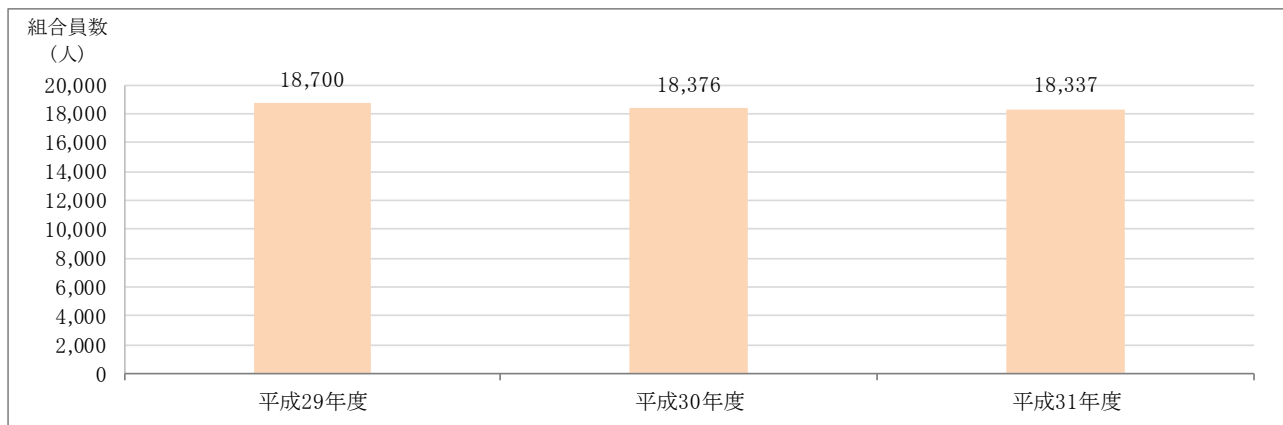
本組合の平成29年度から平成31年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成31年度を平成29年度と比較すると、国民健康保険組合員数18,337人は平成29年度18,700人より363人減少しており、国民健康保険組合員平均年齢42.4歳は平成29年度42.5歳より0.1歳低下している。

年度別 人口構成概要

区分		国保組合員数 (人)	国保組合員 平均年齢(歳)
新潟県建築 国民健康 保険組合	平成29 年度	18,700	42.5
	平成30 年度	18,376	42.4
	平成31 年度	18,337	42.4
県	平成29 年度	513,768	55.3
	平成30 年度	495,746	55.6
	平成31 年度	482,177	56.1
同規模	平成29 年度	17,119	39.2
	平成30 年度	17,213	39.1
	平成31 年度	17,454	39.1
国	平成29 年度	31,587,591	51.1
	平成30 年度	30,811,133	51.3
	平成31 年度	29,893,491	51.6

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年度別 組合員数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別組合員数を年度別に示す。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険組合員数

単位：人

年齢階層	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳～4歳	919	469	450	880	461	419	861	449	412
5歳～9歳	1,080	553	527	1,090	546	544	1,076	542	534
10歳～14歳	1,144	570	574	1,157	553	604	1,162	563	599
15歳～19歳	1,259	627	632	1,220	623	597	1,244	641	603
20歳～24歳	741	418	323	765	449	316	777	466	311
25歳～29歳	527	352	175	482	328	154	499	359	140
30歳～34歳	872	579	293	807	531	276	749	497	252
35歳～39歳	1,215	844	371	1,182	826	356	1,188	827	361
40歳～44歳	1,337	986	351	1,380	1,018	362	1,439	1,067	372
45歳～49歳	1,073	756	317	1,162	845	317	1,242	909	333
50歳～54歳	973	650	323	989	671	318	1,022	718	304
55歳～59歳	1,236	760	476	1,120	713	407	1,126	716	410
60歳～64歳	2,244	1,264	980	1,958	1,114	844	1,704	978	726
65歳～69歳	2,771	1,645	1,126	2,724	1,584	1,140	2,579	1,478	1,101
70歳～74歳	1,309	772	537	1,460	881	579	1,669	1,010	659
合計	18,700	11,245	7,455	18,376	11,143	7,233	18,337	11,220	7,117

出典：国保データベース（KDB）システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

本組合の平成31年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成31年度)

医療項目	新潟県建築 国民健康保険組合	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.0	0.3	0.0	0.3
診療所数	0.0	3.5	0.0	3.4
病床数	0.0	58.9	0.0	52.0
医師数	0.0	9.7	0.0	10.7
外来患者数	540.0	710.3	503.2	682.3
入院患者数	9.6	20.2	8.4	18.7
受診率	549.6	730.5	511.6	701.0
一件当たり医療費(円)	26,460	37,560	27,190	37,410
一般(円)	26,460	37,570	27,190	37,410
退職(円)	0	33,730	0	36,550
外来				
外来費用の割合	65.6%	59.0%	67.4%	59.6%
外来受診率	540.0	710.3	503.2	682.3
一件当たり医療費(円)	17,660	22,810	18,630	22,890
一人当たり医療費(円)	9,530	16,200	9,370	15,620
一日当たり医療費(円)	13,110	16,070	13,250	15,080
一件当たり受診回数	1.3	1.4	1.4	1.5
入院				
入院費用の割合	34.4%	41.0%	32.6%	40.4%
入院率	9.6	20.2	8.4	18.7
一件当たり医療費(円)	522,730	556,020	541,160	567,030
一人当たり医療費(円)	5,010	11,240	4,530	10,600
一日当たり医療費(円)	46,970	31,990	55,940	36,070
一件当たり在院日数	11.1	17.4	9.7	15.7

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

2. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

(1) 特定健康診査

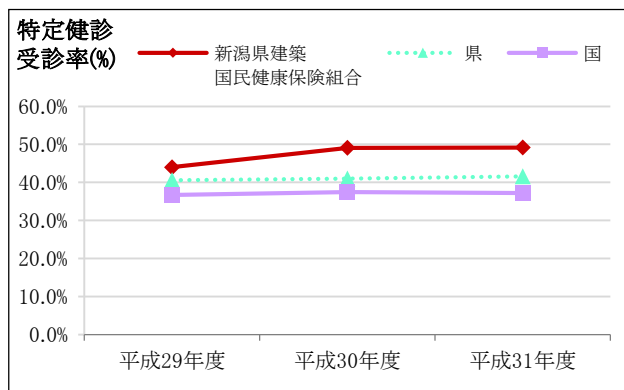
本組合の平成29年度から平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成31年度の特定健康診査受診率49.2%は平成29年度44.0%より5.2ポイント上昇している。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成29年度	平成30年度	平成31年度
新潟県建築 国民健康保険組合	44.0%	49.1%	49.2%
県	40.6%	41.0%	41.6%
同規模	36.1%	39.3%	37.1%
国	36.7%	37.5%	37.2%

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

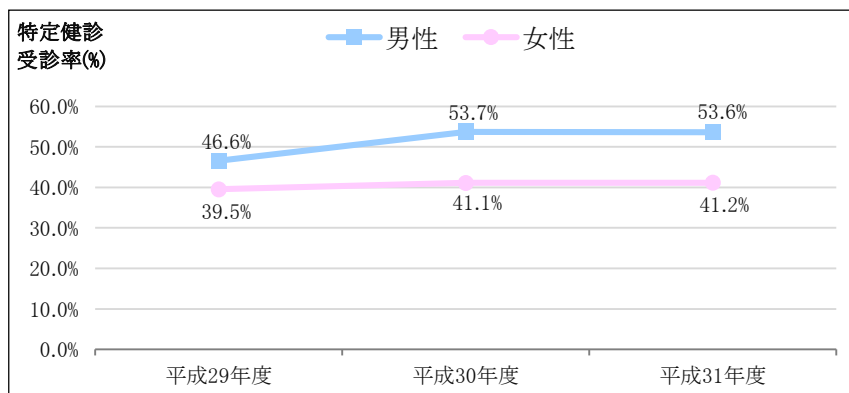
年度別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成31年度受診率53.6%は平成29年度46.6%より7.0ポイント上昇しており、女性の平成31年度受診率41.2%は平成29年度39.5%より1.7ポイント上昇している。

年度・男女別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(2) 特定保健指導

本組合の平成31年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

特定保健指導実施状況(平成31年度)

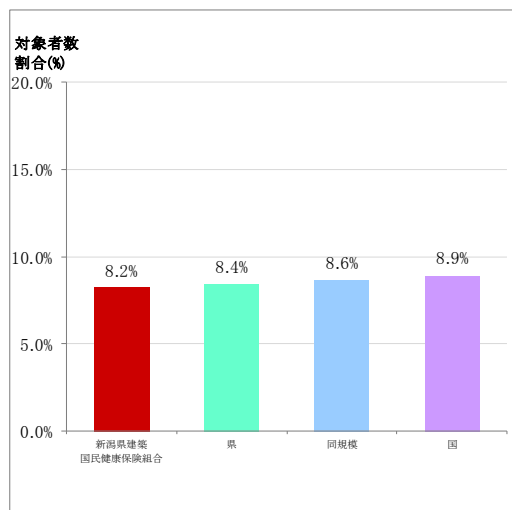
	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
新潟県建築 国民健康保険組合	8.2%	7.1%	15.3%	18.4%
県	8.4%	2.6%	11.0%	37.3%
同規模	8.6%	9.3%	17.9%	6.4%
国	8.9%	3.1%	12.1%	20.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

特定保健指導実施率…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。

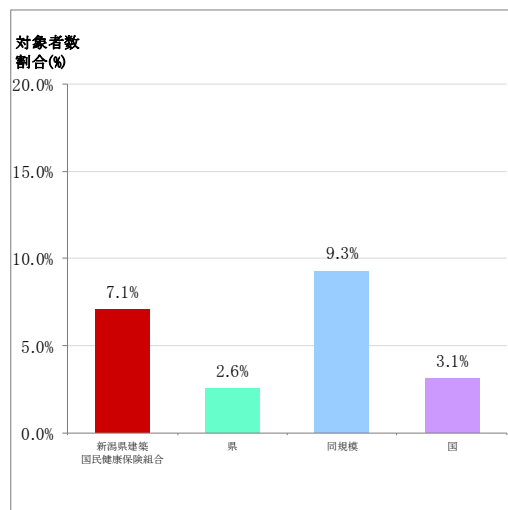
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成31年度)



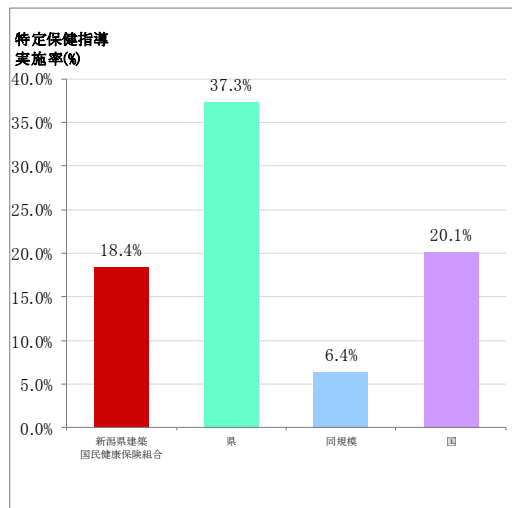
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

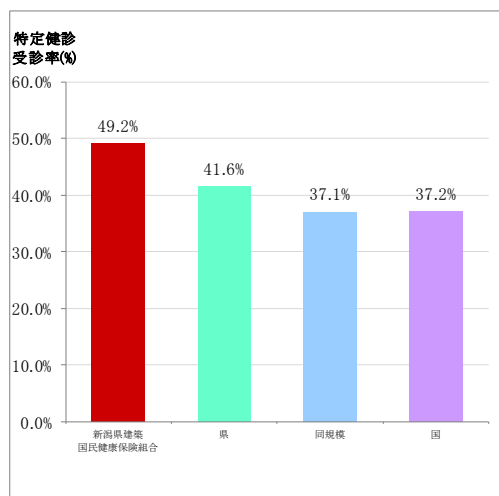
本組合の平成31年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成31年度)

	特定健診受診率
新潟県建築 国民健康保険組合	49.2%
県	41.6%
同規模	37.1%
国	37.2%

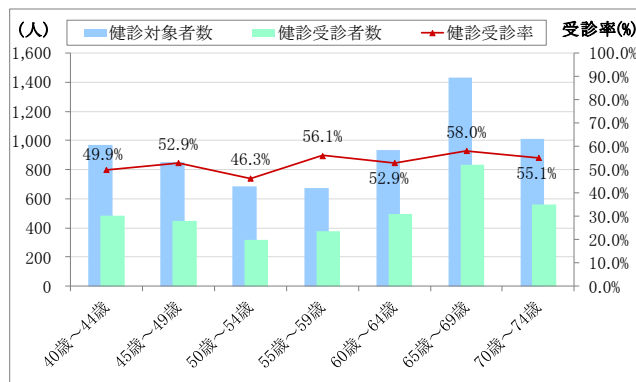
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成31年度)



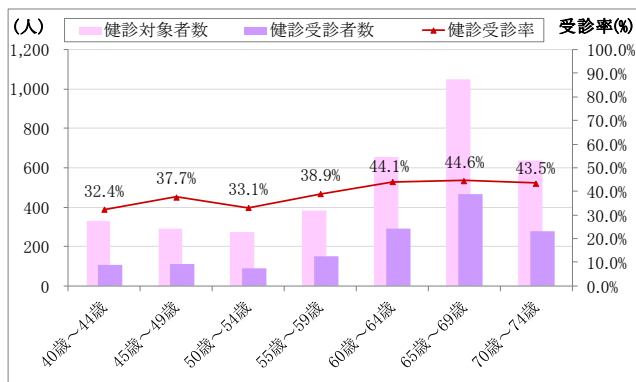
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成31年度)



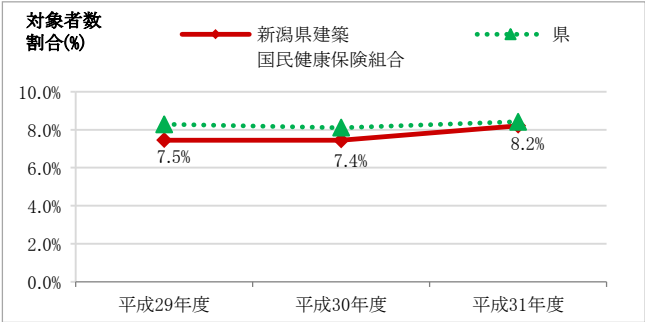
本組合の平成29年度から平成31年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成31年度の特定保健指導実施率18.4%は平成29年度3.9%より14.5ポイント上昇している。

年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援 対象者数割合			積極的支援 対象者数割合			特定保健指導 実施率		
	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度	平成29 年度	平成30 年度	平成31 年度
新潟県建築 国民健康保険組合	7.5%	7.4%	8.2%	7.2%	7.4%	7.1%	3.9%	20.3%	18.4%
県	8.3%	8.1%	8.4%	2.7%	2.5%	2.6%	33.1%	39.2%	37.3%

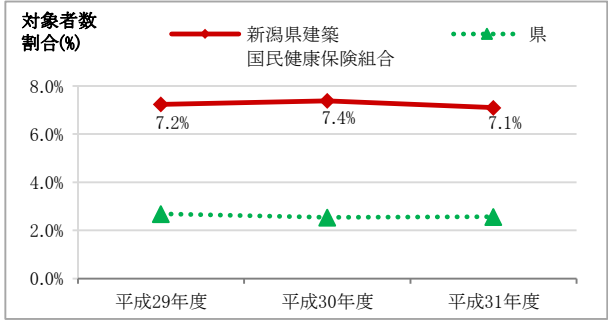
動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
特定保健指導実施率(平成31年度)…最新データ反映前のため、最終結果とは異なる。
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



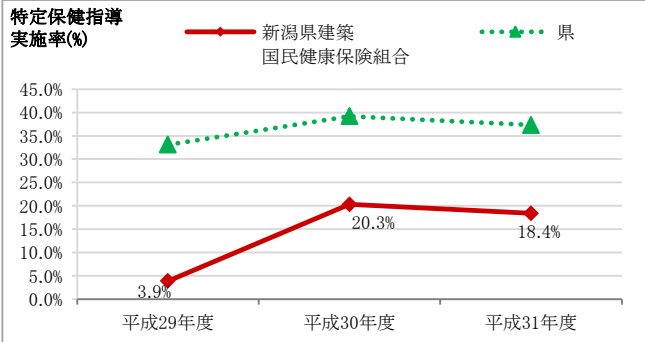
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

3. 過去の取り組みの振り返りと評価

(1) 第2期データヘルス計画の各事業達成状況

第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は、a：改善している b：変わらない c：悪化している d：評価困難の4段階で評価する。

＊：「a：改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a＊」と記載

データヘルス計画全体

指標	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
医療費の伸び率をおさえる		医療費の減少	3,740,136,421	3,856,915,520
ベースライン比				103%

個別保健事業計画

事業名	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
特定健診 受診率向上対策	対象者の受診率 100%	対象者の特定健診 受診率 H31 49% R02 50%	47.5%	44.0%
特定保健指導	対象者の指導実施率 5%	対象者の特定保健指導 実施率 H31 10% R02 15%	2.8%	3.9%
健診異常値放置者 受診勧奨事業	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関 受診率 10%		10%
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関 受診率 10%		0%

評価についてはベースラインの実績値と比較し、4段階で評価
a : 改善している b : 変わらない c : 悪化している d : 評価困難
* : 「a : 改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a*」と記載

実績値		評価	達成につながる 取組・要素	未達につながる 背景・要因	目標値 最終
平成30年度	平成31年度				
3, 842, 307, 127	3, 677, 892, 067	a	特定健診・人間ドック の受診により、病気の 早期発見、治療につな げる	特定健診・人間ドック 受診者の減少	90%
103%	98%				

評価についてはベースラインの実績値と比較し、4段階で評価
a : 改善している b : 変わらない c : 悪化している d : 評価困難
* : 「a : 改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a*」と記載

実績値		評価	成功・未達要因	今後の方向性	目標値 最終
平成30年度	平成31年度				
49. 1%	49. 1%	a	特定健診の無料化及び人間 ドックでの同時受診	特定健診の無料化、受診 勧奨の継続	55%
20. 3%	20. 1%	a	保健指導の無料化、セット 券の発行により同日受診者 の増加	保健指導の無料化、セッ ト券の発行及び受診機関 での声掛け	30%
10%	5%	c		受診勧奨の継続	15%
10%	10%	a		受診勧奨の継続	15%

事業名	目標値		実績値	
	アウトプット	アウトカム	ベースライン (平成28年度)	平成29年度
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診・ 重複服薬)	対象者への 指導実施率 10%	(1) 指導完了者の受診 行動適正化割合 (2) 指導完了者の医療 費減少率 (3) 重複・頻回受診者、 重複服薬者減少率 各指標 70%		(1) 78% (2) 46%
糖尿病性腎症 重症化予防事業	対象者への 指導実施率 10%	指導完了者の 検査値改善率 20%		

評価についてはベースラインの実績値と比較し、4段階で評価
a : 改善している b : 変わらない c : 悪化している d : 評価困難
* : 「a : 改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a*」と記載

実績値		評価	成功・未達要因	今後の方向性	目標値 最終
平成30年度	平成31年度				
(1) 100% (2) 31%	(1) 90% (2) 114%	c		指導を行い適切な受診行動に導く	(1) 100% (2) 50%
100%	100%	a	プログラムの開始時より関心を持って取り組み、改善行動を継続して実践	対象者の指導実施率向上及び重症者を増やさない	100%

4. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、新潟県建築国民健康保険組合における、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。加入者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。加入者数は平均18,287人、レセプト件数は平均16,935件、患者数は平均7,540人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均35,281円となった。

基礎統計

			平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月
A	加入者数(人)		18,530	18,163	18,194	18,243	18,283	18,263	18,267
B	レセプト件数(件)	入院外	10,381	9,937	9,721	10,177	9,416	9,374	9,991
		入院	181	169	189	176	163	167	154
		調剤	7,211	6,818	6,611	7,001	6,548	6,513	7,019
		合計	17,773	16,924	16,521	17,354	16,127	16,054	17,164
C	医療費(円) ※		282,141,170	246,353,550	255,676,810	270,236,150	253,904,330	260,527,980	259,678,880
D	患者数(人) ※		7,871	7,518	7,452	7,727	7,220	7,177	7,614
C/A	加入者一人当たりの医療費(円)		15,226	13,563	14,053	14,813	13,887	14,265	14,216
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		15,875	14,556	15,476	15,572	15,744	16,228	15,129
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		35,846	32,768	34,310	34,973	35,167	36,300	34,105
B/A	受診率(%)		95.9%	93.2%	90.8%	95.1%	88.2%	87.9%	94.0%
D/A	有病率(%)		42.5%	41.4%	41.0%	42.4%	39.5%	39.3%	41.7%

			令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	加入者数(人)		18,255	18,297	18,308	18,312	18,324	18,287	
B	レセプト件数(件)	入院外	9,916	10,354	9,777	9,662	9,824	9,878	118,530
		入院	152	169	195	191	194	175	2,100
		調剤	6,951	7,339	6,871	6,741	6,961	6,882	82,584
		合計	17,019	17,862	16,843	16,594	16,979	16,935	203,214
C	医療費(円) ※		244,848,290	280,336,670	272,188,450	271,281,230	295,222,580	266,033,008	3,192,396,090
D	患者数(人) ※		7,601	7,824	7,470	7,443	7,567	7,540	90,484
C/A	加入者一人当たりの医療費(円)		13,413	15,321	14,867	14,814	16,111	14,548	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		14,387	15,695	16,160	16,348	17,388	15,710	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)		32,213	35,830	36,438	36,448	39,014	35,281	
B/A	受診率(%)		93.2%	97.6%	92.0%	90.6%	92.7%	92.6%	
D/A	有病率(%)		41.6%	42.8%	40.8%	40.6%	41.3%	41.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成29年度から平成31年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成31年度を平成29年度と比較すると、一カ月平均の加入者数18,287人は、平成29年度18,656人より369人減少しており、医療費31億9,240万円は平成29年度33億5,341万円より1億6,101万円減少している。また、一カ月平均の患者数7,540人は、平成29年度7,793人より253人減少している。

年度別 基礎統計

			平成29年度	平成30年度	平成31年度
A	一カ月平均の加入者数(人)		18,656	18,383	18,287
B	レセプト件数(件)	入院外	121,167	120,352	118,530
		入院	2,152	2,207	2,100
		調剤	82,394	82,393	82,584
		合計	205,713	204,952	203,214
C	医療費(円) ※		3,353,408,660	3,348,695,940	3,192,396,090
D	一カ月平均の患者数(人) ※		7,793	7,706	7,540
C/A	加入者一人当たりの医療費(円)		179,752	182,159	174,576
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)		16,301	16,339	15,710
D/A	有病率(%)		41.8%	41.9%	41.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

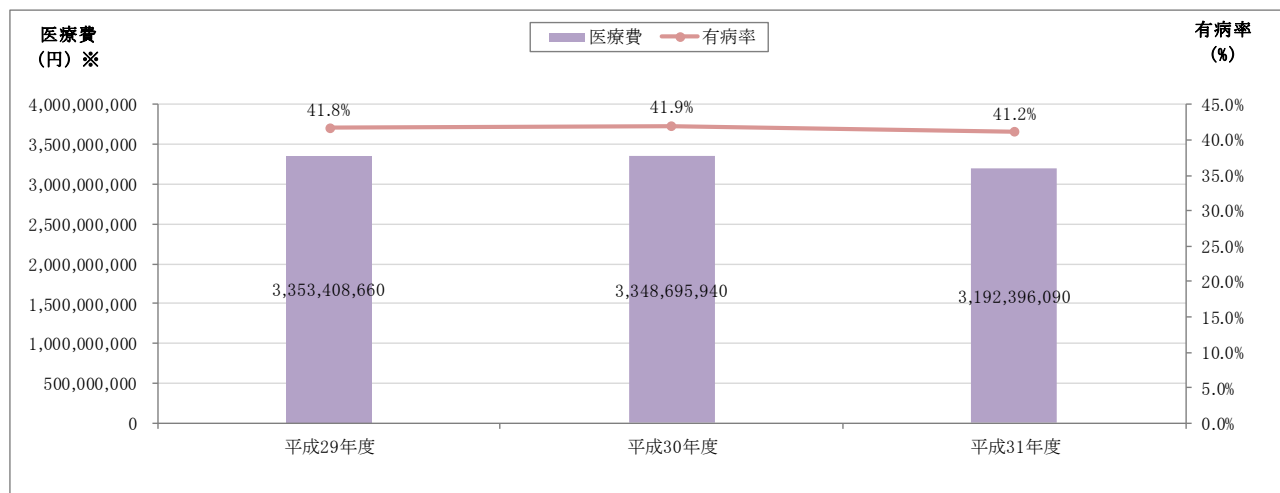
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成29年度から平成31年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成31年度高額レセプト件数889件は平成29年度890件より1件減少しており、平成31年度高額レセプトの医療費9億153万円は平成29年度9億3,118万円より2,965万円減少している。

年度別 高額レセプトの件数及び割合

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
A	レセプト件数(件)	205,713	204,952	203,214
B	高額レセプト件数(件)	890	969	889
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.4%	0.5%	0.4%
C	医療費全体(円) ※	3,353,408,660	3,348,695,940	3,192,396,090
D	高額レセプトの医療費(円) ※	931,183,600	1,022,815,920	901,525,350
E	その他レセプトの医療費(円) ※	2,422,225,060	2,325,880,020	2,290,870,740
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	27.8%	30.5%	28.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

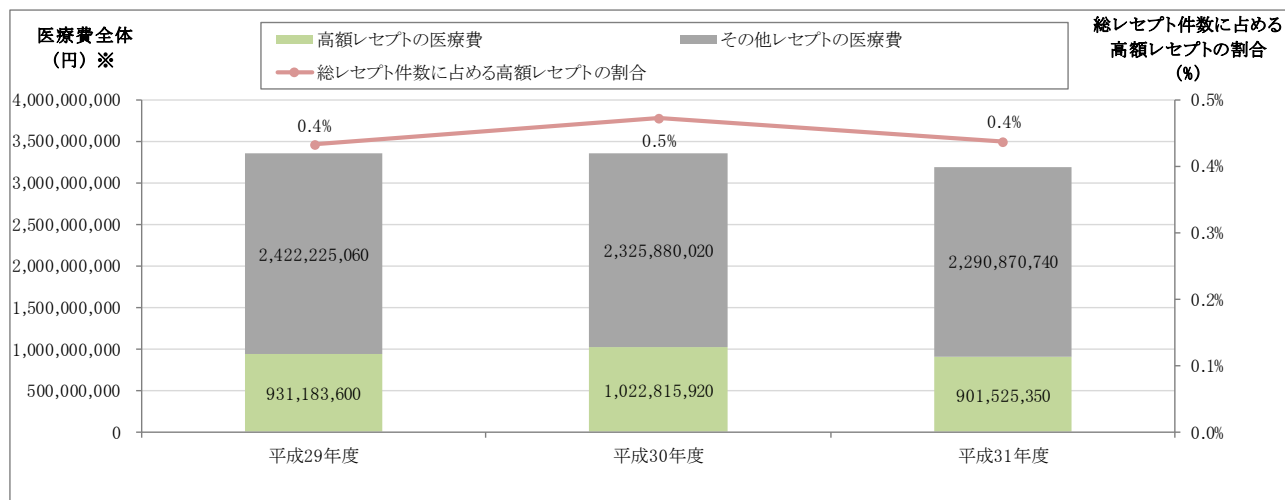
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成29年度から平成31年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 膵癌	50	3,327,820
	2	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 胸椎黄色靱帯骨化症	23	1,664,673
	3	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	漿膜下子宮平滑筋腫, 胃上皮内癌, 壁内子宮平滑筋腫	21	1,366,726
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 心房細動, 心室頻拍	21	2,755,973
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 非小細胞肺癌, 上葉肺腺癌	18	5,787,379
	5	1901 骨折	大腿骨転子部骨折, 橈骨遠位端骨折, 仙骨骨折	18	1,312,465
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 膵癌	43	3,860,187
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 脛骨高原骨折, 寛骨臼骨折	27	1,769,843
	3	1302 関節症	一側性原発性股関節症, 変形性股関節症, 原発性膝関節症	24	2,098,863
	3	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 前十字靱帯損傷, 内側半月板損傷	24	1,637,792
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 非小細胞肺癌, 上葉非小細胞肺癌	23	4,462,923
平成31年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵癌, 中部食道癌	42	2,636,305
	2	1302 関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 両側性原発性膝関節症	28	2,101,193
	3	1901 骨折	大腿骨骨幹部骨折, 足関節外果骨折, 三果骨折	25	1,579,184
	4	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 前十字靱帯損傷, 腹部大動脈損傷	23	2,107,589
	5	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌, 原発性肺癌, 非小細胞肺癌	22	4,210,987

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

△3年度全てその他の悪性新生物<腫瘍>が1位であった。

また、建築という職種の影響もあり、骨折等の外傷が多い傾向にあった。

次に疾病毎の医療費をより詳細に示していく。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

【新潟県建築国民健康保険組合全体】

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の15.8%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.7%と高い割合を占めている。

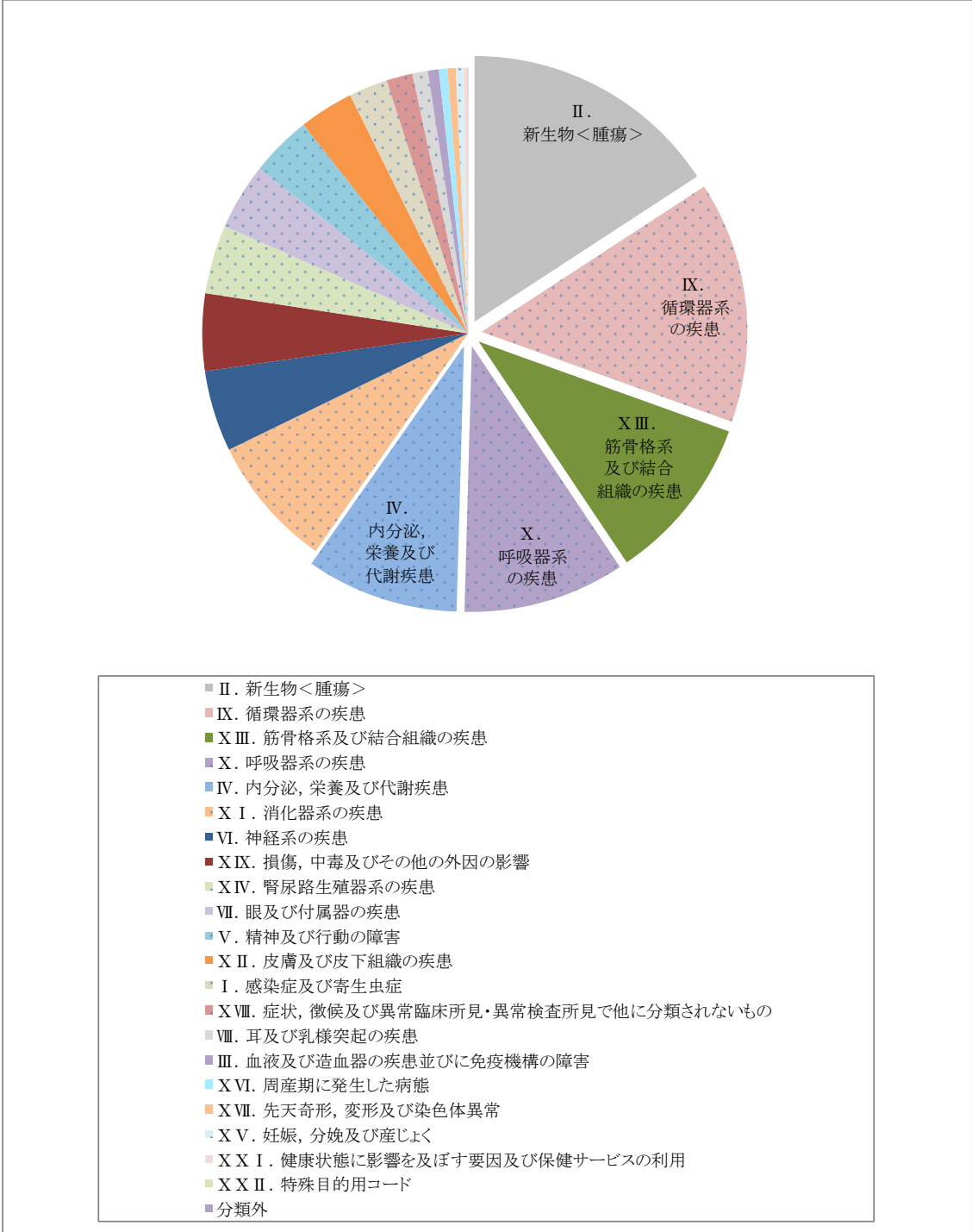
大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	75,004,950	2.4%	13	17,211	9	4,820	8	15,561	19
II. 新生物<腫瘍>	502,956,555	15.8%	1	11,695	12	3,361	10	149,645	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21,076,629	0.7%	16	3,655	16	1,080	16	19,515	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	295,565,667	9.3%	5	50,762	3	5,526	3	53,486	9
V. 精神及び行動の障害	118,591,517	3.7%	11	12,291	11	1,294	15	91,647	5
VI. 神経系の疾患	157,012,986	4.9%	7	21,282	7	2,472	12	63,517	6
VII. 眼及び付属器の疾患	129,092,044	4.1%	10	18,145	8	5,269	6	24,500	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	29,815,372	0.9%	15	5,541	15	1,628	14	18,314	18
IX. 循環器系の疾患	468,136,647	14.7%	2	56,024	1	4,967	7	94,249	4
X. 呼吸器系の疾患	313,436,426	9.8%	4	53,333	2	9,275	1	33,794	13
X I. 消化器系の疾患 ※	256,854,296	8.1%	6	43,147	4	6,535	2	39,304	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	105,354,020	3.3%	12	26,871	6	5,439	5	19,370	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	322,083,827	10.1%	3	38,115	5	5,441	4	59,196	7
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	133,078,641	4.2%	9	11,372	13	2,422	13	54,946	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	15,210,023	0.5%	19	303	20	109	19	139,541	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	16,875,776	0.5%	17	100	21	48	21	351,579	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	15,711,230	0.5%	18	865	18	296	18	53,078	10
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,804,861	1.6%	14	15,909	10	4,166	9	12,195	21
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	149,548,669	4.7%	8	9,832	14	3,223	11	46,400	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,522,658	0.2%	20	3,242	17	569	17	13,221	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,037,526	0.0%	21	323	19	55	20	18,864	17
合計	3,184,770,320			202,084		16,005		198,986	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。
※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物＜腫瘍＞」「循環器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「呼吸器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合(新潟県建築国民健康保険組合全体)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

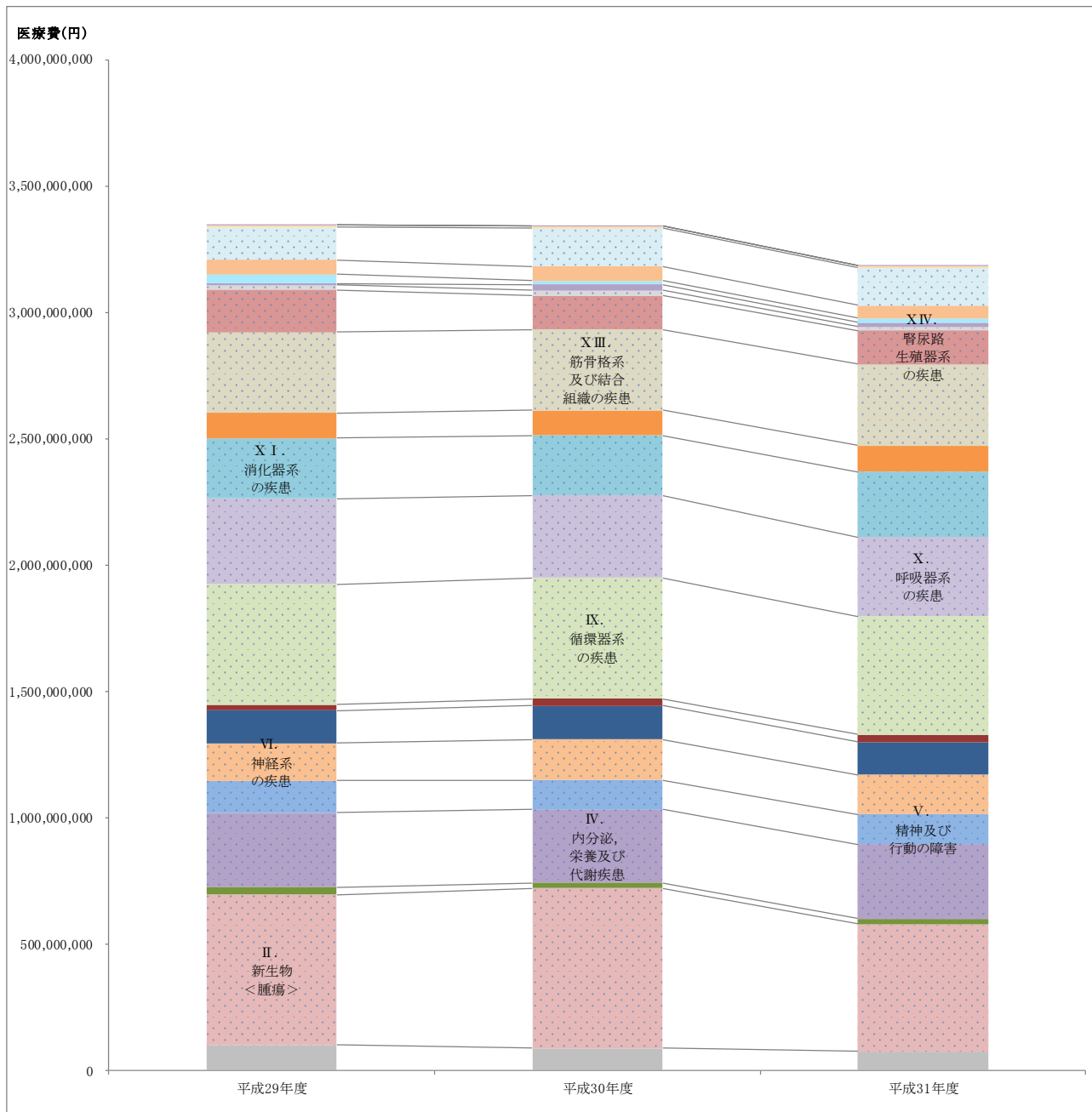
平成29年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	100,197,748	3.0%	12	87,413,851	2.6%	13	75,004,950	2.4%	13
II. 新生物＜腫瘍＞	595,268,018	17.8%	1	634,079,049	19.0%	1	502,956,555	15.8%	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30,142,085	0.9%	16	20,134,124	0.6%	18	21,076,629	0.7%	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	293,328,132	8.8%	5	290,971,475	8.7%	5	295,565,667	9.3%	5
V. 精神及び行動の障害	128,033,030	3.8%	11	115,191,788	3.4%	11	118,591,517	3.7%	11
VI. 神経系の疾患	147,291,762	4.4%	8	161,440,877	4.8%	7	157,012,986	4.9%	7
VII. 眼及び付属器の疾患	129,247,252	3.9%	9	133,625,831	4.0%	10	129,092,044	4.1%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	24,407,115	0.7%	17	27,826,840	0.8%	15	29,815,372	0.9%	15
IX. 循環器系の疾患	476,498,935	14.2%	2	478,956,805	14.3%	2	468,136,647	14.7%	2
X. 呼吸器系の疾患	337,164,034	10.1%	3	325,893,581	9.8%	3	313,436,426	9.8%	4
X I. 消化器系の疾患 ※	239,240,754	7.2%	6	236,205,678	7.1%	6	256,854,296	8.1%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	100,085,799	3.0%	13	99,618,792	3.0%	12	105,354,020	3.3%	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	320,847,606	9.6%	4	319,365,180	9.6%	4	322,083,827	10.1%	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	167,375,548	5.0%	7	134,164,312	4.0%	9	133,078,641	4.2%	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	18,320,240	0.5%	18	20,812,144	0.6%	17	15,210,023	0.5%	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	6,431,193	0.2%	20	24,237,392	0.7%	16	16,875,776	0.5%	17
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	35,741,353	1.1%	15	15,146,693	0.5%	19	15,711,230	0.5%	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	57,948,019	1.7%	14	56,363,442	1.7%	14	50,804,861	1.6%	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	128,275,584	3.8%	10	149,667,884	4.5%	8	149,548,669	4.7%	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,534,564	0.3%	19	9,111,215	0.3%	20	7,522,658	0.2%	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	1,546,089	0.0%	21	937,557	0.0%	21	1,037,526	0.0%	21
合計	3,345,924,860			3,341,164,510			3,184,770,320		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。
※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

△医療費全体は横ばいであり、上位5疾病も不動であった。

中位では神経系の疾患が上昇傾向にあり、消化器系の疾患、腎尿路生殖器系の疾患は減少傾向にあった。

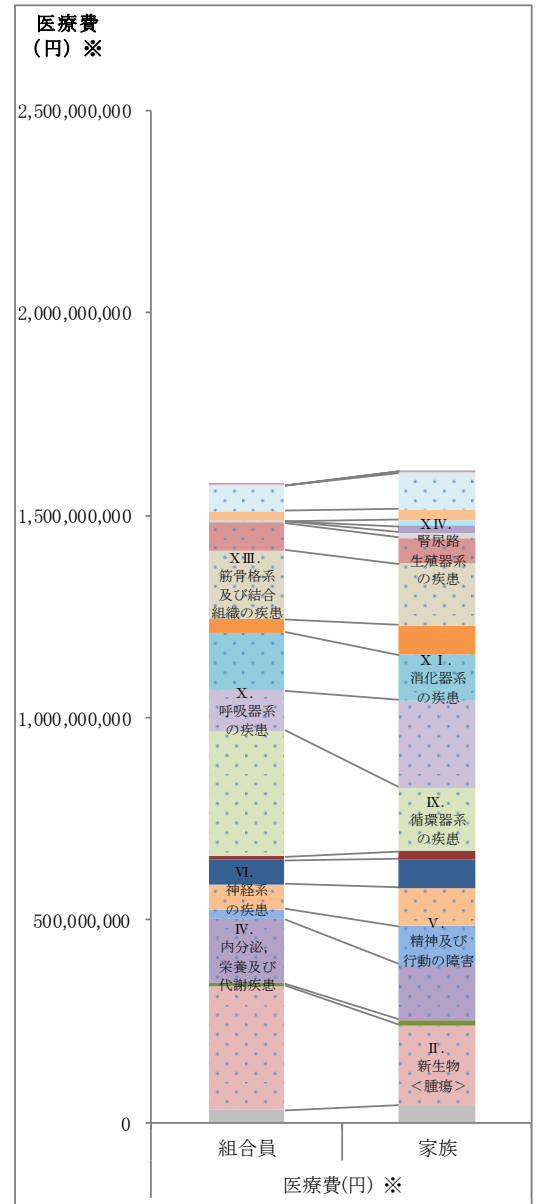
【組合員・家族】

新潟県建築国民健康保険組合における、疾病別医療費統計を組合員・家族別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	組合員	家族
I. 感染症及び寄生虫症	31,890,651	43,114,299
II. 新生物<腫瘍>	305,188,123	197,768,432
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,271,950	12,804,679
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	158,006,185	137,559,482
V. 精神及び行動の障害	23,929,511	94,662,006
VI. 神経系の疾患	62,291,139	94,721,847
VII. 眼及び付属器の疾患	59,828,247	69,263,797
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	8,350,087	21,465,285
IX. 循環器系の疾患	311,043,473	157,093,174
X. 呼吸器系の疾患	99,038,253	214,398,173
X I. 消化器系の疾患 ※	143,490,095	113,364,201
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	32,509,061	72,844,959
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	169,583,432	152,500,395
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	69,419,146	63,659,495
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,583,514	12,626,509
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	16,875,776
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,124,385	14,586,845
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,691,567	27,113,294
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	61,974,877	87,573,792
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,675,789	3,846,869
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	297,185	740,341
合計	1,576,186,670	1,608,583,650



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

△組合員は循環器系の疾患が最も高く、家族は呼吸器系の疾患が高かった。
また、組合員、家族ともに、新生物<腫瘍>の医療費が比較的高い傾向にあった。

②中分類による疾病別医療費統計

平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	166,977,406	5.2%	3,713
2	1113	その他の消化器系の疾患	156,658,864	4.9%	3,518
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	151,340,803	4.8%	1,215
4	0402	糖尿病	146,183,053	4.6%	3,217
5	0903	その他の心疾患	125,020,659	3.9%	1,556
6	0606	その他の神経系の疾患	110,559,681	3.5%	2,256
7	0403	脂質異常症	88,565,420	2.8%	2,753
8	1302	関節症	83,699,496	2.6%	1,529
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	82,553,254	2.6%	381
10	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	80,693,408	2.5%	2,568

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1003	その他の急性上気道感染症	37,489,429	4,574	28.6%
2	1006	アレルギー性鼻炎	55,177,782	4,434	27.7%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,804,861	4,166	26.0%
4	0703	屈折及び調節の障害	16,192,877	3,780	23.6%
5	0901	高血圧性疾患	166,977,406	3,713	23.2%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	44,115,481	3,710	23.2%
7	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	30,588,653	3,691	23.1%
8	1113	その他の消化器系の疾患	156,658,864	3,518	22.0%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	44,584,477	3,428	21.4%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	31,764,432	3,426	21.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209	白血病	16,920,391	25	676,816
2	0208	悪性リンパ腫	26,240,501	64	410,008
3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	29,258,784	75	390,117
4	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,970,591	24	373,775
5	1402	腎不全	61,352,844	198	309,863
6	0904	くも膜下出血	15,451,093	54	286,131
7	1602	その他の周産期に発生した病態	7,905,185	31	255,006
8	0905	脳内出血	22,677,760	102	222,331
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	82,553,254	381	216,675
10	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	39,487,026	185	213,443

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成29年度から平成31年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成29年度	1	0901 高血圧性疾患	199,123,377	6.0%	3,829
	2	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	188,922,761	5.6%	1,260
	3	0402 糖尿病	143,382,983	4.3%	3,187
	4	1113 その他の消化器系の疾患	127,137,029	3.8%	3,404
	5	0903 その他の心疾患	119,440,489	3.6%	1,484
	6	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	104,070,045	3.1%	374
	7	1402 腎不全	102,326,543	3.1%	188
	8	0606 その他の神経系の疾患	101,938,895	3.0%	2,247
	9	0403 脂質異常症	98,175,248	2.9%	2,805
	10	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	73,618,627	2.2%	2,688
平成30年度	1	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	193,057,462	5.8%	1,223
	2	0901 高血圧性疾患	174,001,941	5.2%	3,790
	3	0402 糖尿病	142,167,136	4.3%	3,176
	4	1113 その他の消化器系の疾患	129,713,546	3.9%	3,412
	5	0903 その他の心疾患	119,803,304	3.6%	1,519
	6	0606 その他の神経系の疾患	114,869,873	3.4%	2,311
	7	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	98,471,282	2.9%	394
	8	0403 脂質異常症	90,164,300	2.7%	2,760
	9	1302 関節症	76,244,433	2.3%	1,506
	10	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	72,923,391	2.2%	2,665
平成31年度	1	0901 高血圧性疾患	166,977,406	5.2%	3,713
	2	1113 その他の消化器系の疾患	156,658,864	4.9%	3,518
	3	0210 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	151,340,803	4.8%	1,215
	4	0402 糖尿病	146,183,053	4.6%	3,217
	5	0903 その他の心疾患	125,020,659	3.9%	1,556
	6	0606 その他の神経系の疾患	110,559,681	3.5%	2,256
	7	0403 脂質異常症	88,565,420	2.8%	2,753
	8	1302 関節症	83,699,496	2.6%	1,529
	9	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	82,553,254	2.6%	381
	10	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	80,693,408	2.5%	2,568

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成29年度	1	1003 その他の急性上気道感染症	38,407,121	4,816	29.2%
	2	1011 その他の呼吸器系の疾患	61,733,346	4,708	28.5%
	3	1006 アレルギー性鼻炎	51,940,648	4,366	26.4%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	57,948,019	4,205	25.5%
	5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	40,789,944	4,009	24.3%
	6	0901 高血圧性疾患	199,123,377	3,829	23.2%
	7	0703 屈折及び調節の障害	17,568,812	3,822	23.1%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	46,185,762	3,737	22.6%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	34,063,652	3,585	21.7%
	10	1113 その他の消化器系の疾患	127,137,029	3,404	20.6%
平成30年度	1	1003 その他の急性上気道感染症	39,039,122	4,827	29.5%
	2	1006 アレルギー性鼻炎	54,580,206	4,647	28.4%
	3	1011 その他の呼吸器系の疾患	63,027,137	4,232	25.9%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,363,442	4,181	25.6%
	5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	33,590,623	3,875	23.7%
	6	0703 屈折及び調節の障害	16,962,166	3,816	23.4%
	7	0901 高血圧性疾患	174,001,941	3,790	23.2%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	42,854,408	3,768	23.1%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	32,670,703	3,574	21.9%
	10	1113 その他の消化器系の疾患	129,713,546	3,412	20.9%
平成31年度	1	1003 その他の急性上気道感染症	37,489,429	4,574	28.6%
	2	1006 アレルギー性鼻炎	55,177,782	4,434	27.7%
	3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,804,861	4,166	26.0%
	4	0703 屈折及び調節の障害	16,192,877	3,780	23.6%
	5	0901 高血圧性疾患	166,977,406	3,713	23.2%
	6	1202 皮膚炎及び湿疹	44,115,481	3,710	23.2%
	7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	30,588,653	3,691	23.1%
	8	1113 その他の消化器系の疾患	156,658,864	3,518	22.0%
	9	1011 その他の呼吸器系の疾患	44,584,477	3,428	21.4%
	10	1105 胃炎及び十二指腸炎	31,764,432	3,426	21.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成29年度	1	0209 白血病	15,307,066	23	665,525
	2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	40,284,431	73	551,842
	3	1402 腎不全	102,326,543	188	544,290
	4	1701 心臓の先天奇形	24,853,495	56	443,812
	5	0208 悪性リンパ腫	33,952,597	80	424,407
	6	0501 血管性及び詳細不明の認知症	6,508,622	19	342,559
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	47,166,935	164	287,603
	8	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	104,070,045	374	278,262
	9	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	44,129,411	176	250,735
	10	0601 パーキンソン病	9,972,090	47	212,172
平成30年度	1	0209 白血病	28,517,143	29	983,350
	2	0208 悪性リンパ腫	57,949,200	65	891,526
	3	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	17,445,692	22	792,986
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	42,499,139	67	634,316
	5	1402 腎不全	70,379,402	216	325,831
	6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	45,058,276	170	265,049
	7	0905 脳内出血	25,732,245	98	262,574
	8	0904 くも膜下出血	12,349,972	48	257,291
	9	0602 アルツハイマー病	9,424,260	37	254,710
	10	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	98,471,282	394	249,927
平成31年度	1	0209 白血病	16,920,391	25	676,816
	2	0208 悪性リンパ腫	26,240,501	64	410,008
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	29,258,784	75	390,117
	4	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,970,591	24	373,775
	5	1402 腎不全	61,352,844	198	309,863
	6	0904 くも膜下出血	15,451,093	54	286,131
	7	1602 その他の周産期に発生した病態	7,905,185	31	255,006
	8	0905 脳内出血	22,677,760	102	222,331
	9	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	82,553,254	381	216,675
	10	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	39,487,026	185	213,443

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

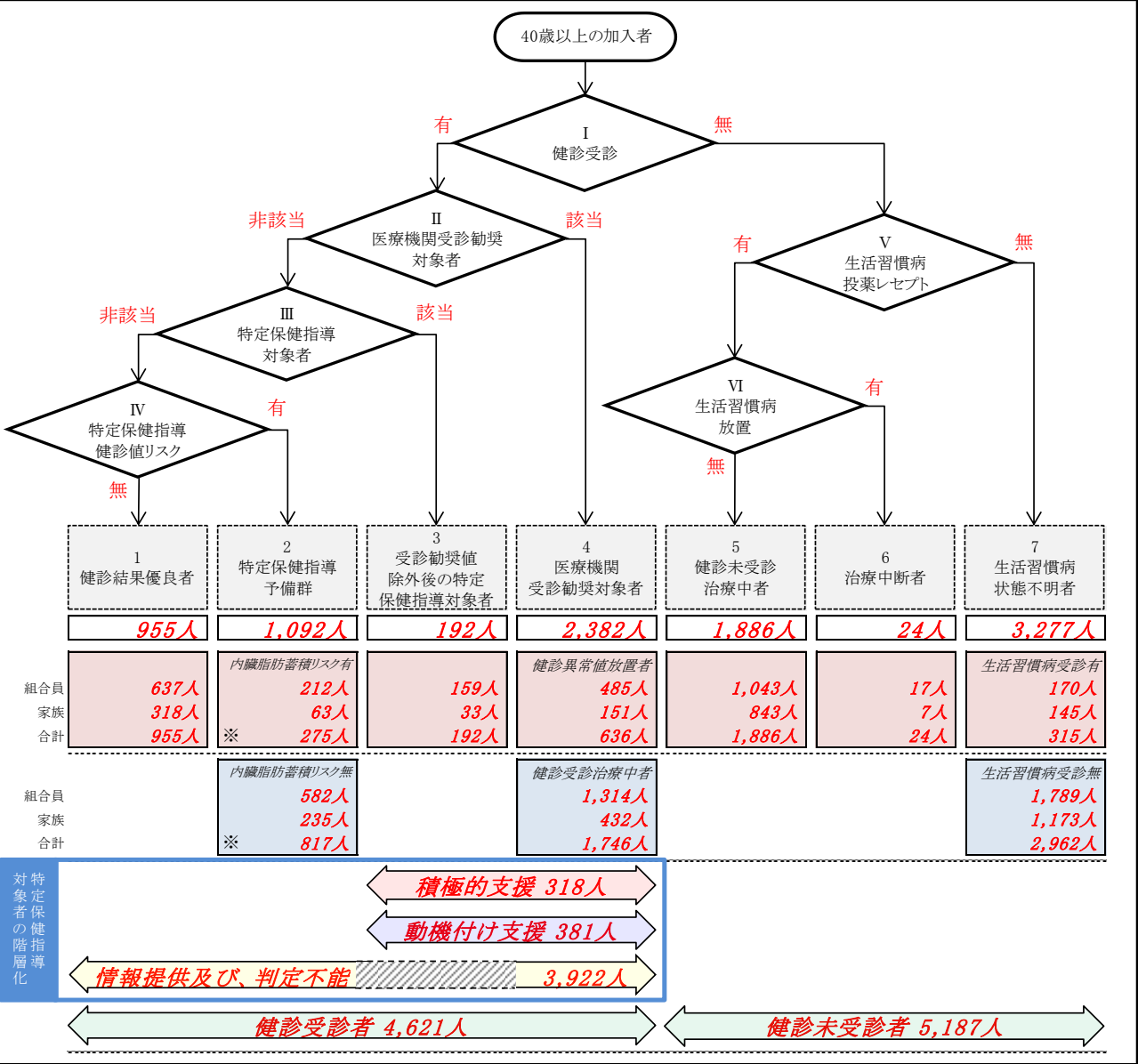
5. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の加入者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲 (分析対象) …入院 (DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分 (12カ月分)。
データ化範囲 (分析対象) …健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分 (12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

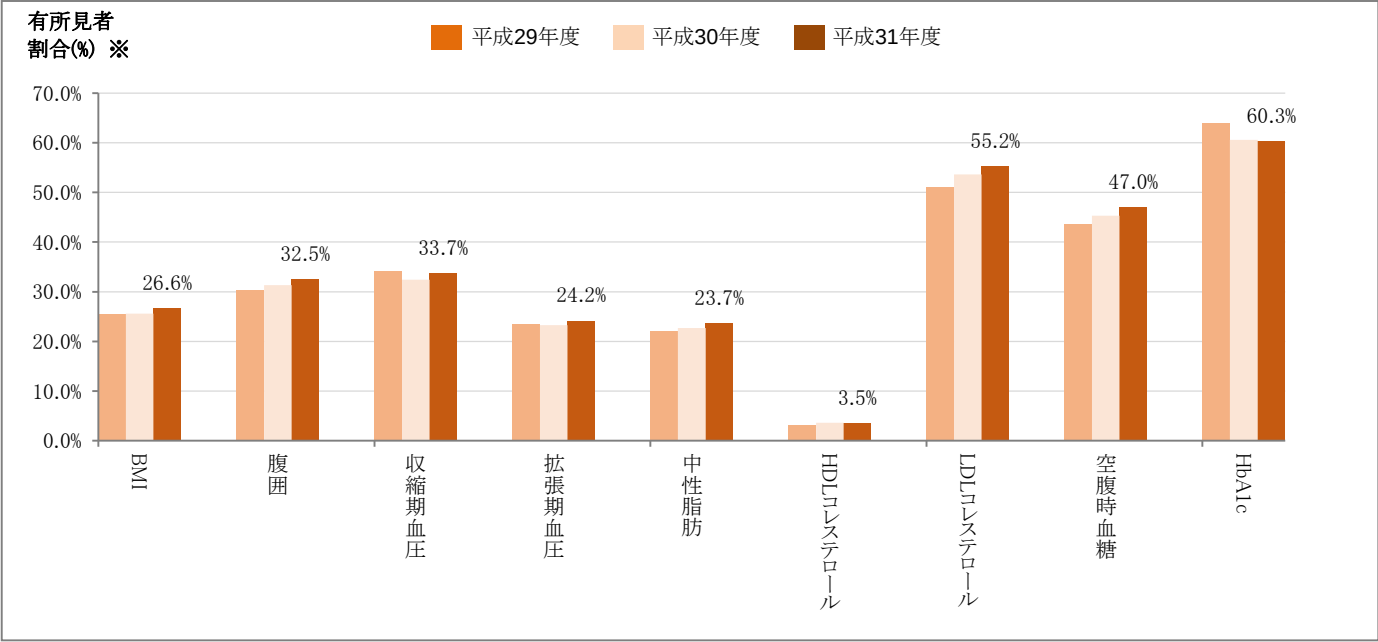
平成29年4月～令和2年3月の特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

※HbA1cの有所見者割合が、3年間、減少傾向だった。

年度別 有所見者割合

		平成29年度	平成30年度	平成31年度
BMI	対象者数(人) ※	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	1,077	1,203	1,231
	有所見者割合(%) ※	25.4%	25.6%	26.6%
腹囲	対象者数(人) ※	4,230	4,691	4,618
	有所見者数(人) ※	1,281	1,467	1,499
	有所見者割合(%) ※	30.3%	31.3%	32.5%
収縮期血圧	対象者数(人) ※	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	1,443	1,523	1,556
	有所見者割合(%) ※	34.1%	32.4%	33.7%
拡張期血圧	対象者数(人) ※	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	991	1,096	1,117
	有所見者割合(%) ※	23.4%	23.3%	24.2%
中性脂肪	対象者数(人) ※	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	935	1,064	1,095
	有所見者割合(%) ※	22.1%	22.7%	23.7%
HDLコレステロール	対象者数(人) ※	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	136	169	161
	有所見者割合(%) ※	3.2%	3.6%	3.5%
LDLコレステロール	対象者数(人) ※	4,234	4,691	4,618
	有所見者数(人) ※	2,161	2,515	2,550
	有所見者割合(%) ※	51.0%	53.6%	55.2%
空腹時血糖	対象者数(人) ※	3,521	4,020	3,921
	有所見者数(人) ※	1,540	1,821	1,844
	有所見者割合(%) ※	43.7%	45.3%	47.0%
HbA1c	対象者数(人) ※	4,039	4,685	4,618
	有所見者数(人) ※	2,586	2,841	2,783
	有所見者割合(%)	64.0%	↓ 60.6%	↓ 60.3%

年度別 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

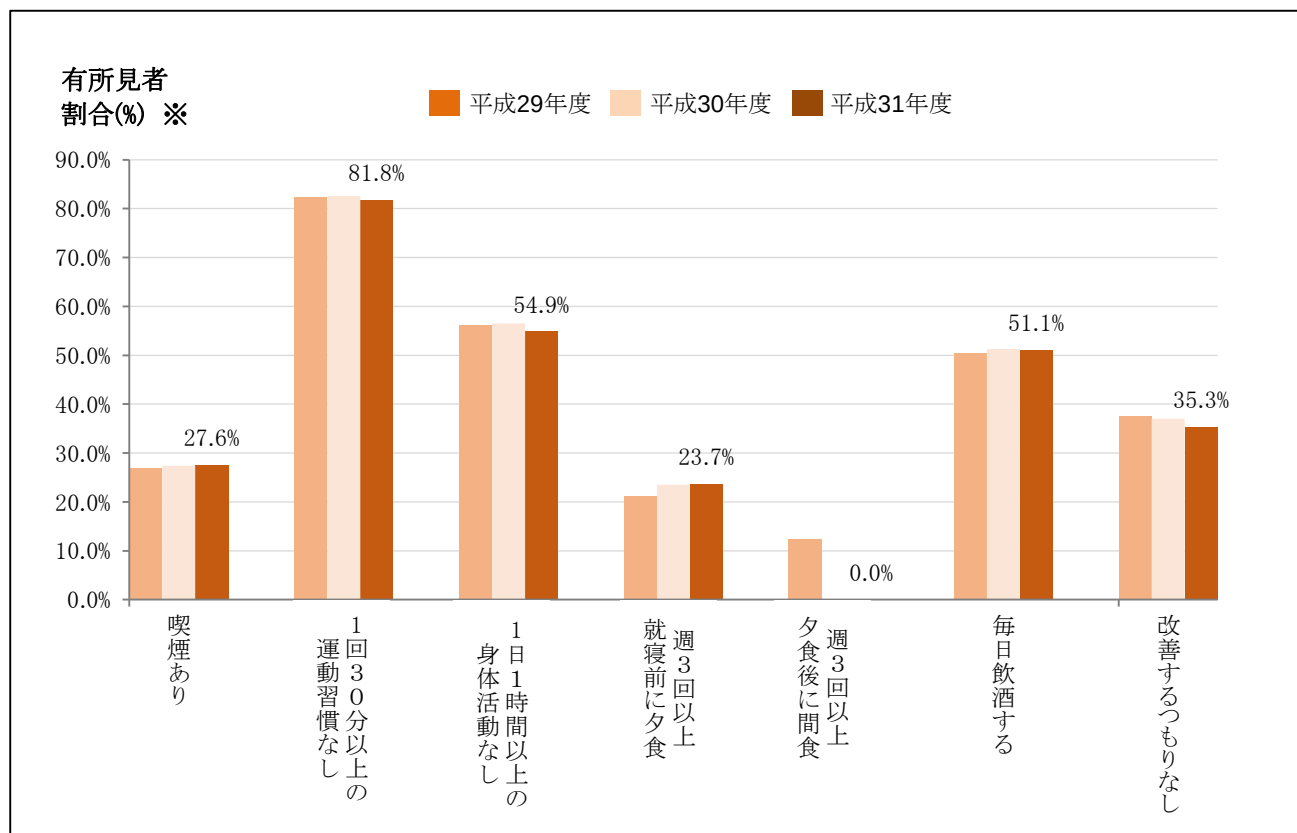
保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール: 39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

年度別 質問別回答状況

			平成29年度	平成30年度	平成31年度
喫煙習慣	喫煙あり	質問回答者数(人) ※	4,234	4,694	4,621
		選択者数(人) ※	1,142	1,285	1,275
		選択者割合(%) ※	27.0%	27.4%	27.6%
運動習慣	1回30分以上の運動習慣なし	質問回答者数(人) ※	4,226	4,689	4,619
		選択者数(人) ※	3,477	3,873	3,780
		選択者割合(%) ※	82.3%	82.6%	81.8%
	1日1時間以上の身体活動なし	質問回答者数(人) ※	4,227	4,691	4,618
		選択者数(人) ※	2,374	2,649	2,533
		選択者割合(%) ※	56.2%	56.5%	54.9%
咀嚼	ほとんどかめない	質問回答者数(人) ※	0	4,331	4,613
		選択者数(人) ※	0	45	40
		選択者割合(%) ※	0.0%	1.0%	0.9%
食習慣	週3回以上就寝前に夕食	質問回答者数(人) ※	4,228	4,688	4,616
		選択者数(人) ※	895	1,102	1,092
		選択者割合(%) ※	21.2%	23.5%	23.7%
	週3回以上夕食後に間食 ※	質問回答者数(人) ※	4,230	0	0
		選択者数(人) ※	526	0	0
		選択者割合(%) ※	12.4%	0.0%	0.0%
	毎日間食する	質問回答者数(人) ※	0	4,335	4,614
		選択者数(人) ※	0	790	812
		選択者割合(%) ※	0.0%	18.2%	17.6%
飲酒習慣	毎日飲酒する	質問回答者数(人) ※	4,232	4,688	4,618
		選択者数(人) ※	2,132	2,406	2,359
		選択者割合(%) ※	50.4%	51.3%	51.1%
生活習慣	改善するつもりなし	質問回答者数(人) ※	4,206	4,680	4,613
		選択者数(人) ※	1,584	1,731	1,630
		選択者割合(%) ※	37.7%	37.0%	35.3%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～令和2年3月健診分(36ヵ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり	…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
1回30分以上の運動習慣なし	…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
1日1時間以上の身体活動なし	…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
週3回以上就寝前に夕食	…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
週3回以上夕食後に間食	…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。※平成30年度以降で廃止された質問項目。
毎日飲酒する	…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
改善するつもりなし	…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

☞喫煙は微増傾向にある。生活習慣病との関連性も指摘されており、喫煙者の有所見者割合は比較的高い可能性がある。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の加入者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は699人である。このうち、積極的支援の対象者は318人、動機付け支援の対象者は381人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者		
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			699人		
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	37人	318人	45%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	45人		
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	23人		
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	27人		
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	20人		
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	42人		
	●		●			血糖＋脂質	22人		
		●	●			血圧＋脂質	19人		
	●			●		血糖＋喫煙	33人		
		●		●	因子数1	血圧＋喫煙	24人		
			●	●		脂質＋喫煙	26人		
	●					血糖	0人		
		●				血圧	0人		
			●			脂質	0人		
				●		喫煙	0人		
					因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	3人	381人	55%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	20人		
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	4人		
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	4人		
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	5人		
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	58人		
	●		●			血糖＋脂質	28人		
		●	●			血圧＋脂質	18人		
	●			●		血糖＋喫煙	17人		
		●		●	因子数1	血圧＋喫煙	6人		
			●	●		脂質＋喫煙	9人		
	●					血糖	94人		
		●				血圧	68人		
			●			脂質	47人		
				●		喫煙	0人		
					因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

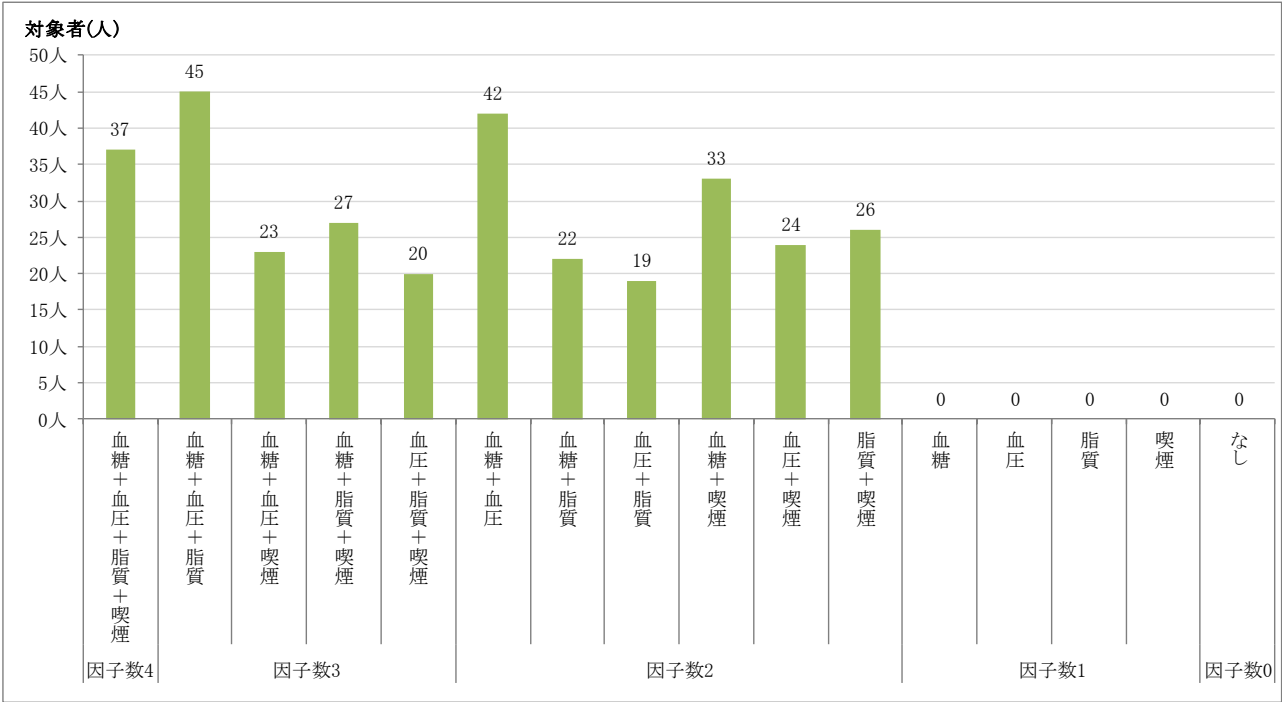
資格確認日…令和2年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

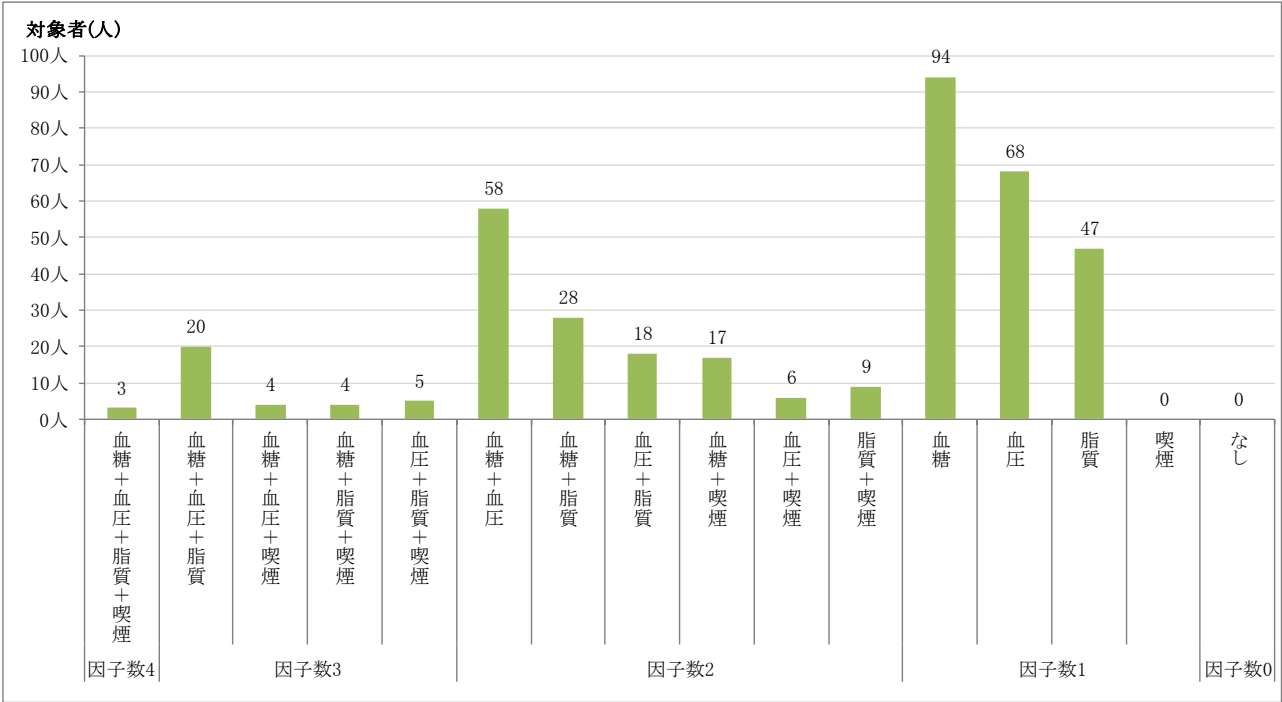
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

☞積極的支援、動機付け支援共に、喫煙を伴ったリスク因子に該当する対象者が多い傾向にあった。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する636人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

・健診異常値放置者 … 健診受診後、医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

条件設定により対象となった候補者数

636 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	120 人



除外患者を除いた候補者数		516 人
--------------	--	-------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者516人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位

↑高 効果 低↓	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 3 人 組合員3人 家族0人	候補者C 5 人 組合員4人 家族1人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 21 人 組合員19人 家族2人	候補者D 61 人 組合員41人 家族20人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 156 人 組合員146人 家族10人	候補者F 270 人 組合員190人 家族80人
		喫煙	非喫煙
	←良 効率 悪→		
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			516 人 組合員403人 家族113人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた加入者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない加入者を健診異常値放置者と判定する。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者47人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	24 人
	上記以外のグループ	23 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		47 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は健康診査受診の有無にかかわらず発生する。「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」では、最初の分岐で健康診査の受診の有無を見ているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診者のみ格納される。事業を実施するためには健康診査受診者の治療中断者も併せて事業を実施する必要があるため、ここで健康診査受診者における治療中断者の人数を特定している。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	1 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		46 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者46人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑ 高 効果 低 ↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0 人 組合員0人 家族0人	候補者A2 0 人 組合員0人 家族0人	候補者A3 1 人 組合員1人 家族0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 1 人 組合員1人 家族0人	候補者B2 2 人 組合員2人 家族0人	候補者B3 1 人 組合員1人 家族0人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 1 人 組合員0人 家族1人	候補者C2 23 人 組合員13人 家族10人	候補者C3 17 人 組合員14人 家族3人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
	効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数			46 人 組合員32人 家族14人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病の医療機関受診を中断している判定を行う。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、73.3%が生活習慣を起因とするものであり、その73.3%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

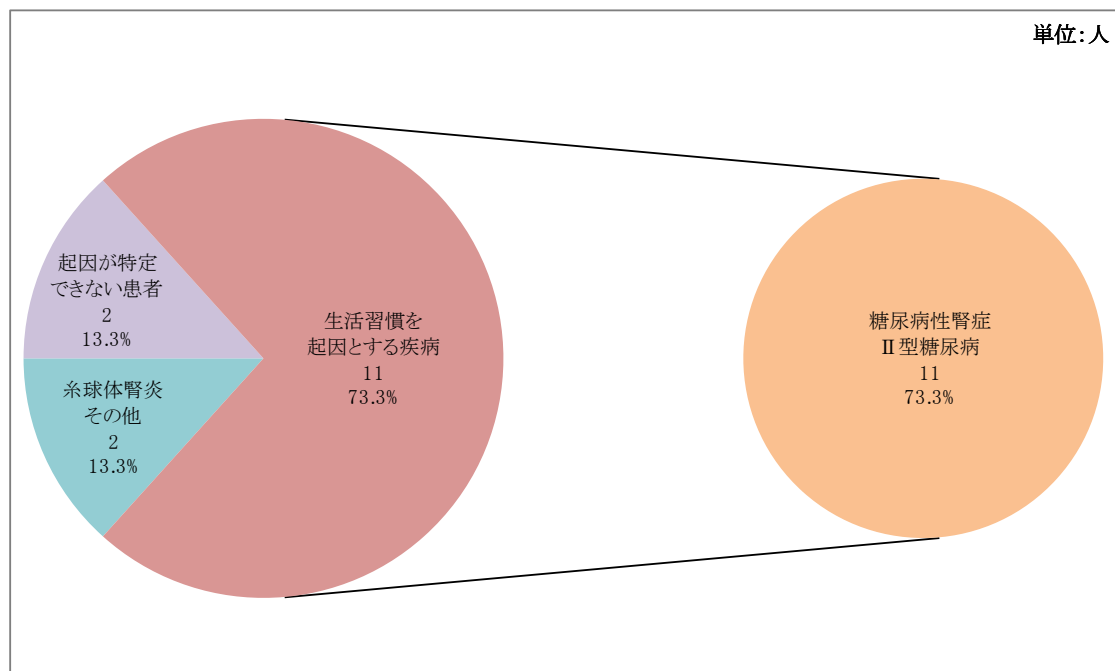
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	15
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	15

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している加入者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

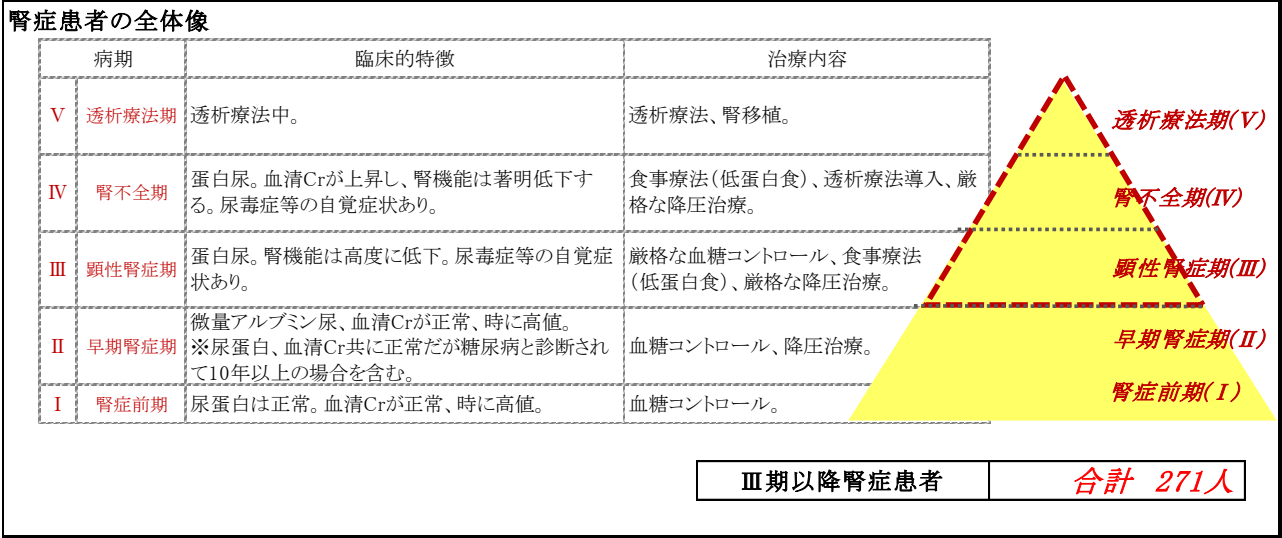
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している加入者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者271人中66人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

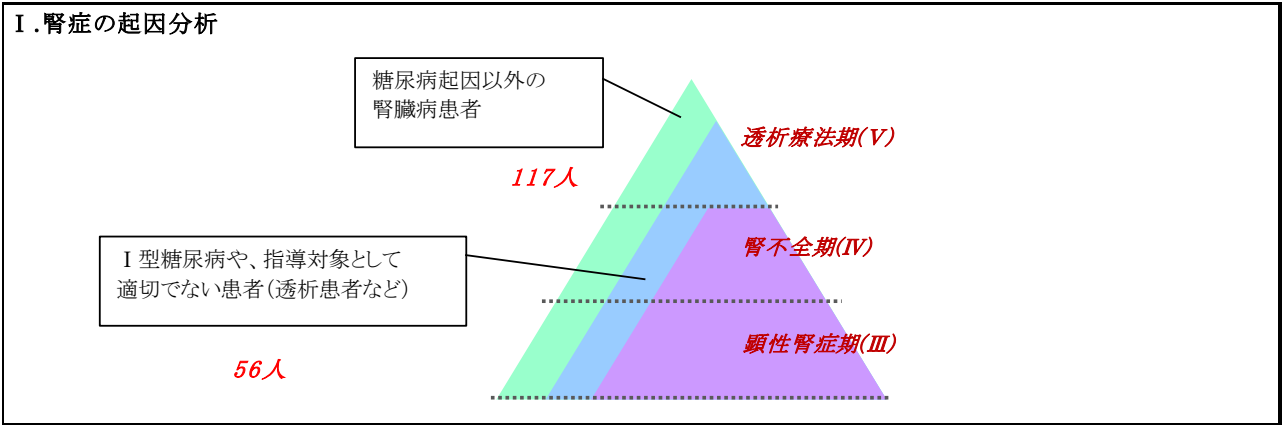
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、117人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、56人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析

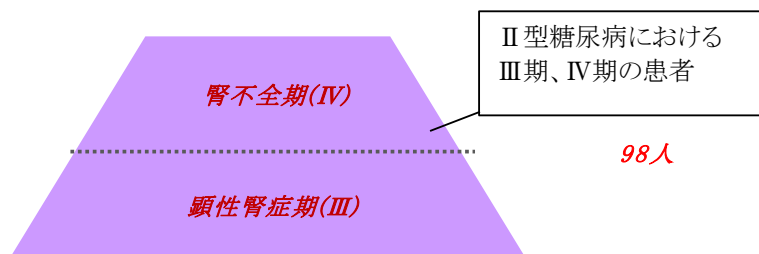


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて98人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

Ⅱ.Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

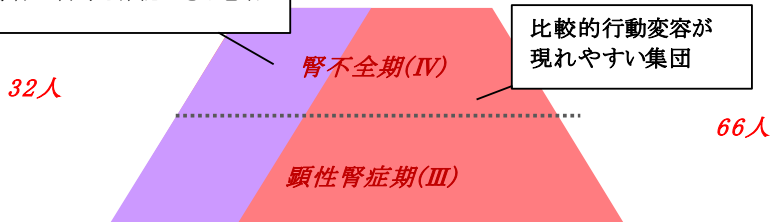
次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。98人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、32人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、66人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

保健指導対象者の優先順位

Ⅲ.保健指導対象者の優先順位

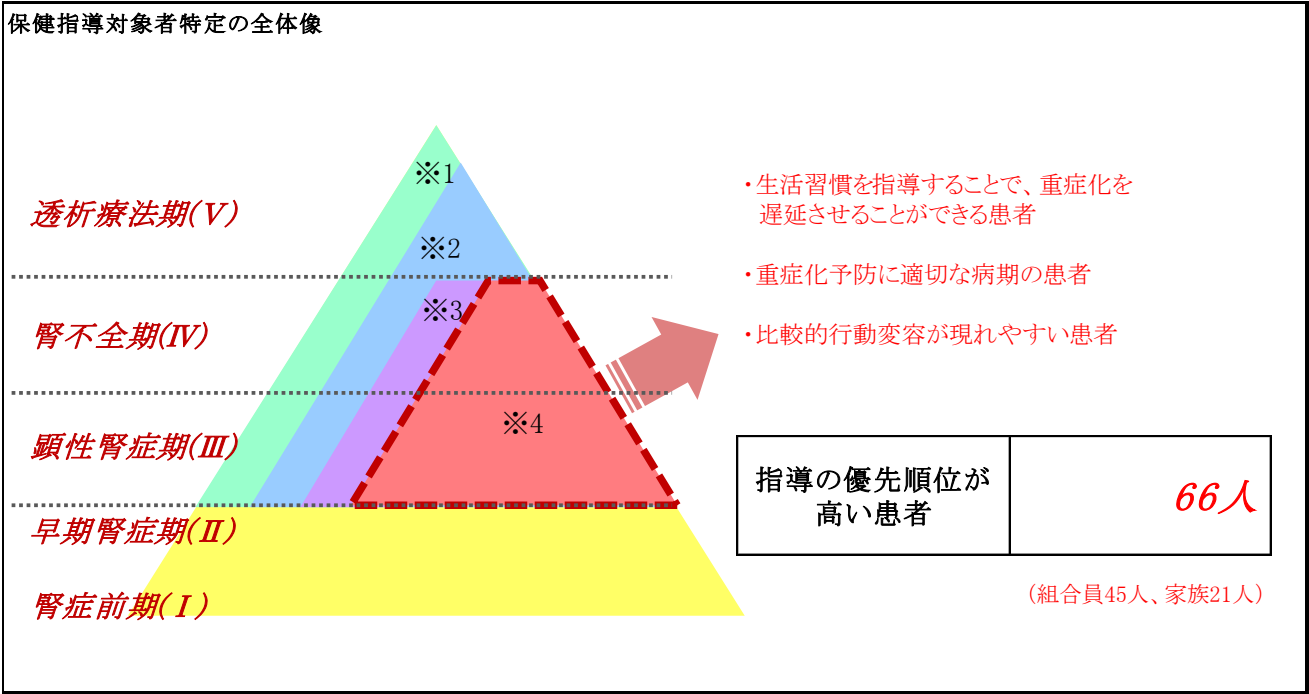
複雑なケースが含まれる集団
がん、難病、精神疾患、認知症、シヤント、
透析予防指導管理料等を確認できる患者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、66人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

- ※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者
- ※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)
- ※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)
- ※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
重複受診者数(人) ※	4	6	8	2	8	4	5	6	7	5	4	6
12カ月間の延べ人数											65人	
12カ月間の実人数											60人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
頻回受診者数(人) ※	8	7	10	13	12	16	16	13	17	14	15	22
12カ月間の延べ人数											163人	
12カ月間の実人数											74人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
重複服薬者数(人) ※	25	19	17	19	18	16	25	26	26	28	20	20
12カ月間の延べ人数											259人	
12カ月間の実人数											153人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は60人、頻回受診者は74人、重複服薬者は153人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者

条件設定により候補者となった患者数

273人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	163人
除外患者を除き、候補者となった患者数		110人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者110人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cは12人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位	
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 候補者A 5人 組合員 5人 家族 0人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 候補者B 6人 組合員 3人 家族 3人
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当) 候補者C 1人 組合員 0人 家族 1人
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者 候補者としない 98人 組合員 44人 家族 54人
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cの患者数 12人 組合員 8人 家族 4人	

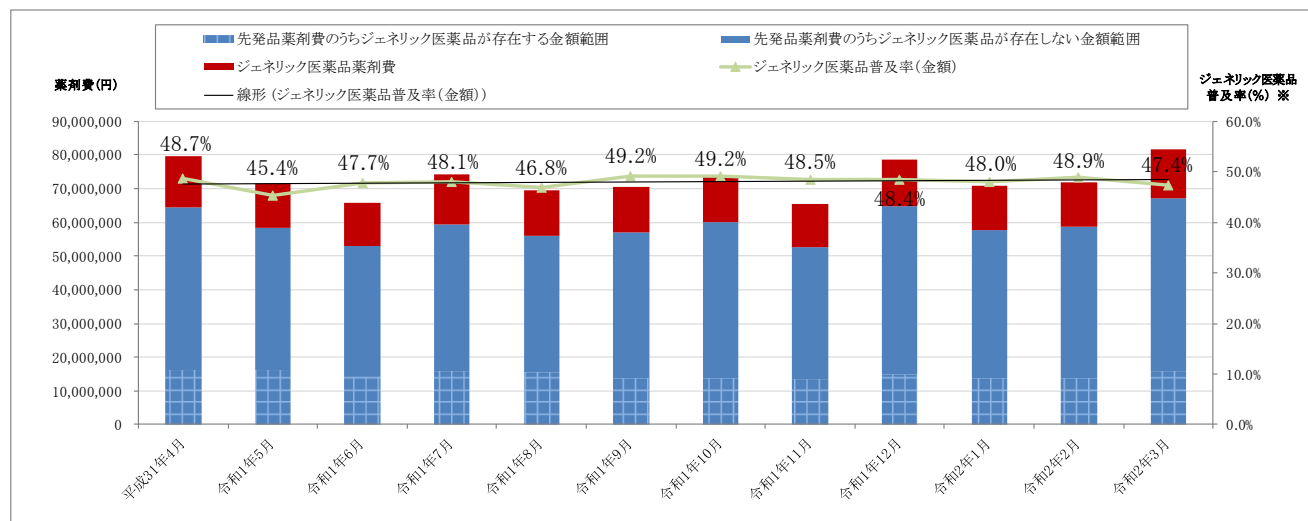
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は48.0%(金額ベース)、80.7%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

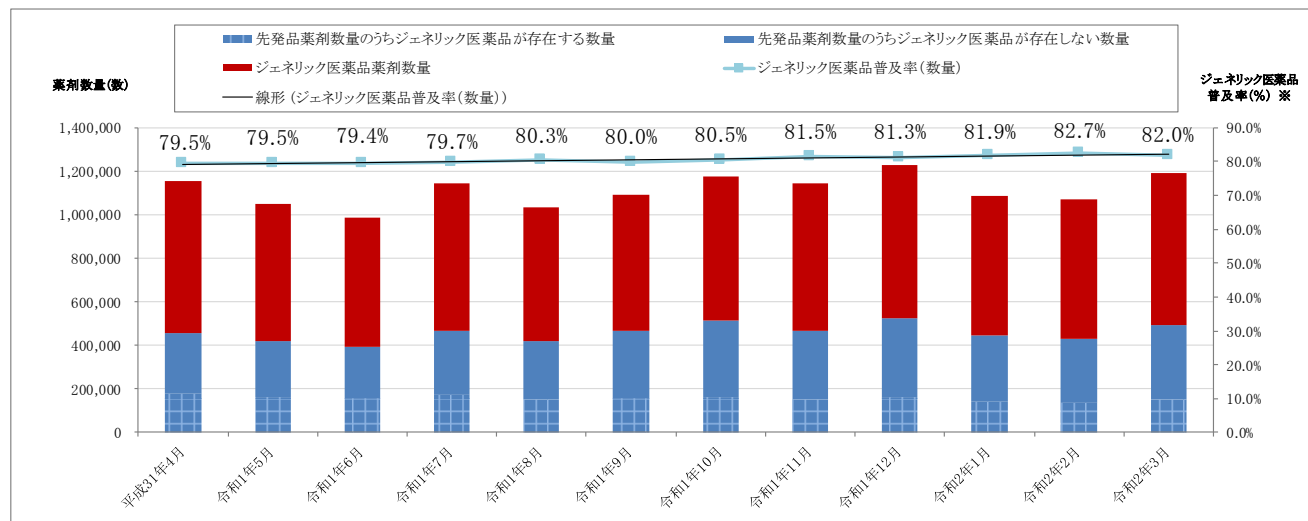


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



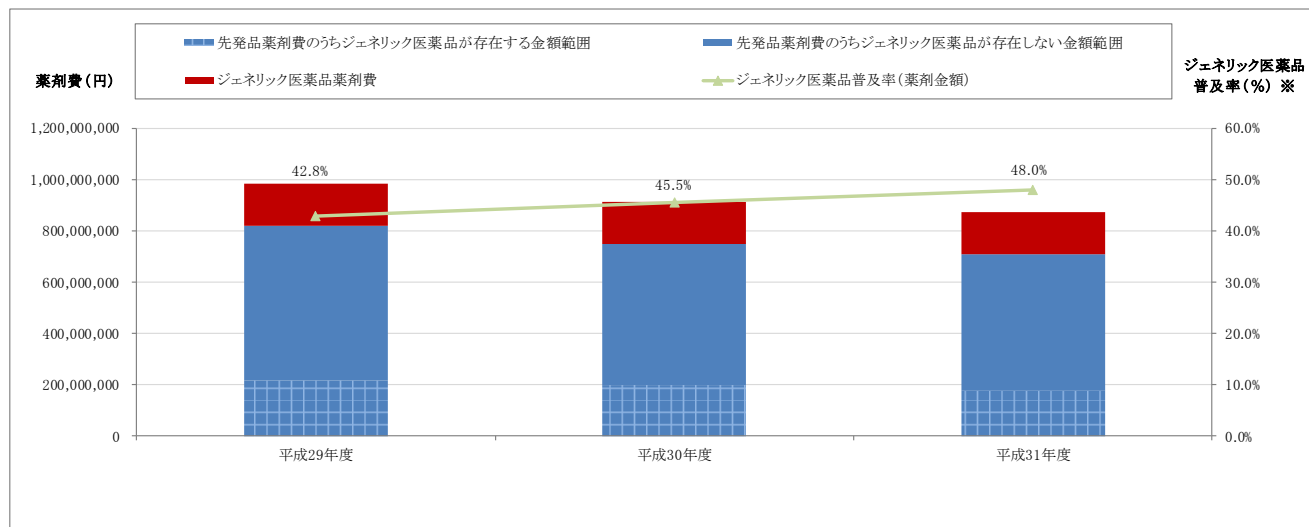
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成29年度から平成31年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成31年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)48.0%は、平成29年度42.8%より5.2ポイント上昇しており、平成31年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)80.7%は、平成29年度72.2%より8.5ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



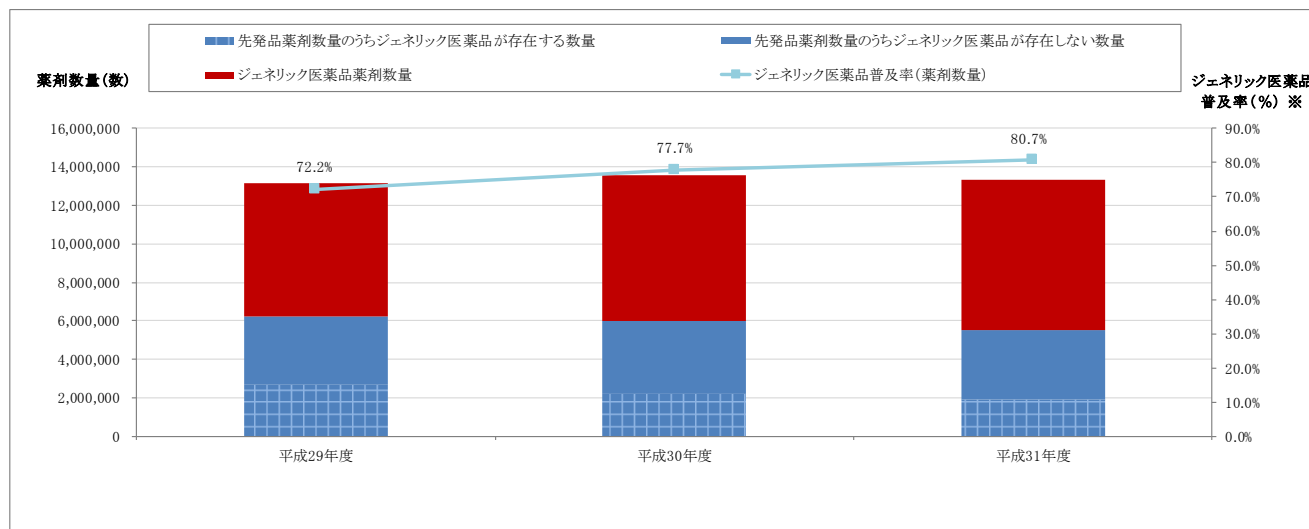
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

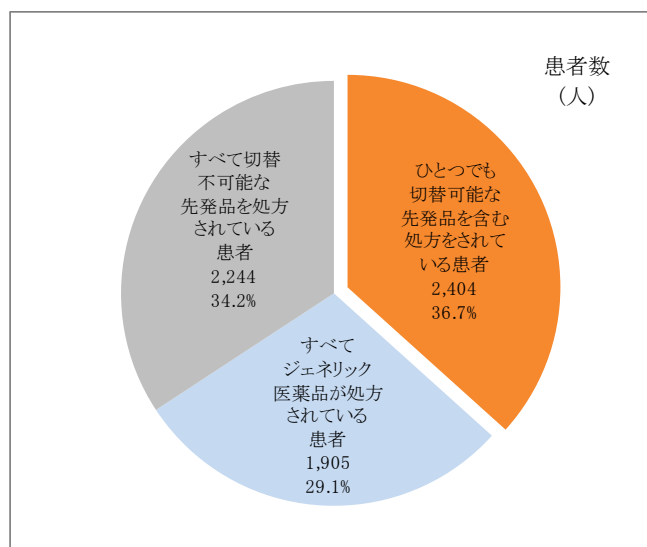
対象診療年月は平成29年4月～令和2年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

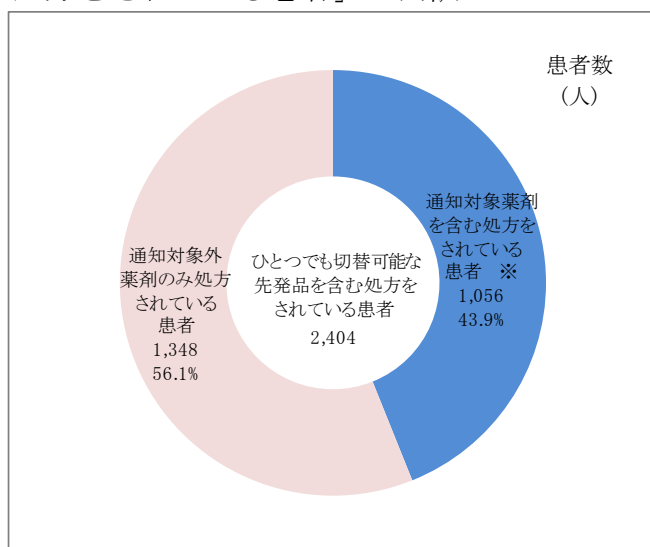
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、令和2年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は6,553人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切替可能な先発品を含む処方をされている患者は2,404人で患者数全体の36.7%を占める。さらにこのうちデータ分析会社基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,056人がジェネリック医薬品切替可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切替可能な先発品を含む処方をされている患者の43.9%を占める。

ジェネリック医薬品への切替ポテンシャル (患者数ベース)



「ひとつでも切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和2年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…データ分析会社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方・短期処方のものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は344人、実人数は304人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
薬剤併用禁忌 対象者数(人)※	19	24	18	23	15	36	32	47	41	36	31	22

12カ月間の延べ人数	344 人
12カ月間の実人数	304 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。
※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	304
件数合計(件)	398

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	39
2	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	35
3	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	27
4	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	22
5	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	18
6	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	17
7	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	15
8	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	15
9	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	9
10	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	8
11	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	621498101	カブコデN配合錠	8
12	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	8
13	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	6
14	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	660421115	ホクナリンテープ0. 5mg	6
15	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	660463035	メブチン吸入液ユニット0. 3mL 0. 01%	6
16	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	5
17	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	5
18	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	5
19	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	5
20	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	5
21	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	621950801	シムビコートタービュヘイラー60吸入	5
22	内服	622649001	アセトアミノフェン錠500mg「マルイシ」	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	4
23	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620160701	セラビナ配合顆粒	4
24	内服	620000032	カロナール細粒50%	内服	620160501	PL配合顆粒	4
25	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620161301	幼児用PL配合顆粒	3
26	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160701	セラビナ配合顆粒	3
27	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	3
28	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	621558101	SG配合顆粒	3
29	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	3
30	内服	620160701	セラビナ配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	3
31	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	3
32	内服	622652901	トアラセット配合錠「三笠」	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	3
33	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	3
34	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	620004835	メブチン吸入液0. 01%	3
35	内服	611140784	アセトアミノフェン「ヨシダ」	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	2
36	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	620160501	PL配合顆粒	2
37	内服	620002636	アセトアミノフェン錠200mg「NP」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	2
38	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160601	サラザック配合顆粒	2
39	外用	662450001	アドレナリン液 0. 1%	外用	660463035	メブチン吸入液ユニット0. 3mL 0. 01%	2
40	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	2
41	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	2
42	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620159701	小児用ベレックス配合顆粒	2
43	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622652901	トアラセット配合錠「三笠」	2
44	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「ケミファ」	2
45	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	2
46	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	2
47	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	2
48	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	620004229	ゾロブテロールテープ1mg「HMT」	2
49	外用	620518102	ボスミン外用液0. 1%	外用	620009062	ベネトリン吸入液0. 5%	2
50	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(10)服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起こりやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の対象者は461人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層		対象者数(人)							
		～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～
加入者数(人)		7,474	1,412	1,242	1,012	1,111	1,679	2,558	1,800
薬剤種類数	2種類	28	3	12	3	10	30	28	24
	3種類	34	6	8	9	17	30	59	34
	4種類	28	4	7	11	21	22	66	48
	5種類	26	6	5	13	8	33	56	58
	6種類	12	4	4	7	6	19	43	42
	7種類	5	3	2	4	9	22	34	29
	8種類	4	1	0	3	5	12	24	31
	9種類	1	4	1	2	1	4	16	18
	10種類	0	3	1	1	2	4	10	10
	11種類	2	1	0	0	1	3	3	8
	12種類	1	0	0	1	0	1	2	7
	13種類	0	1	0	0	2	1	5	7
	14種類	0	0	0	0	0	0	0	4
	15種類	0	0	0	0	0	0	2	1
	16種類	0	0	0	0	0	0	1	0
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	1
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	0	1	0
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	2
合計		141	36	40	54	82	181	350	324



長期多剤服薬者数(人)※	461
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和1年12月～令和2年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

また、長期多剤服薬者461人が加入者全体に占める割合は2.5%、長期服薬者全体に占める割合は38.2%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	加入者数(人)	7,474	1,412	1,242	1,012	1,111	1,679	2,558	1,800	18,288
B	長期服薬者数(人)※	141	36	40	54	82	181	350	324	1,208
C	長期多剤服薬者数(人)※	25	17	8	18	26	66	141	160	461
C/A	加入者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.3%	1.2%	0.6%	1.8%	2.3%	3.9%	5.5%	8.9%	2.5%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	17.7%	47.2%	20.0%	33.3%	31.7%	36.5%	40.3%	49.4%	38.2%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和1年12月～令和2年3月診療分(4ヵ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

※長期多剤服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

6. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成29年度から平成31年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成29年度	1位	循環器系の疾患	593,708,752円
	2位	新生物＜腫瘍＞	476,725,575円
	3位	呼吸器系の疾患	325,879,379円
平成30年度	1位	新生物＜腫瘍＞	634,068,959円
	2位	循環器系の疾患	478,973,043円
	3位	呼吸器系の疾患	325,879,379円
平成31年度	1位	新生物＜腫瘍＞	502,956,555円
	2位	循環器系の疾患	468,136,647円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	322,083,827円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成29年度	1位	高血圧性疾患	199,346,172円
	2位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	187,517,190円
	3位	糖尿病	143,464,350円
平成30年度	1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	193,058,962円
	2位	高血圧性疾患	174,075,118円
	3位	糖尿病	142,083,415円
平成31年度	1位	高血圧性疾患	166,977,406円
	2位	その他の消化器系の疾患	156,658,864円
	3位	糖尿病	151,340,803円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 29 年 度	高額レセプト件数	890件
	高額レセプト件数割合	0.4%
	高額レセプト医療費割合	27.8%
平成 30 年 度	高額レセプト件数	969件
	高額レセプト件数割合	0.5%
	高額レセプト医療費割合	30.5%
平成 31 年 度	高額レセプト件数	889件
	高額レセプト件数割合	0.4%
	高額レセプト医療費割合	28.2%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 29 年 度	1位	心臓の先天奇形	16,434,615円
	2位	白血病	7,172,123円
	3位	パーキンソン病	5,929,670円
平成 30 年 度	1位	白血病	9,208,160円
	2位	くも膜下出血	8,099,200円
	3位	悪性リンパ腫	6,807,860円
平成 31 年 度	1位	その他の脊柱障害	7,512,500円
	2位	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	6,819,460円
	3位	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	6,469,880円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ジェネリック医薬品 普及率	72.2%	77.7%	80.7%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。	・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。	・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。	・糖尿病性腎症重症化予防
◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。	・受診行動適正化指導
◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)を上回っており、高い普及率を維持するため切り替え勧奨を行う。	・ジェネリック医薬品差額通知
◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。	・薬剤併用禁忌防止
◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起こりやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。	・服薬情報通知

㊦糖尿病、高血圧、脂質異常等の生活習慣病の医療費が高く、透析に繋がっているため、特定健診受診率の向上を軸とし、糖尿病性腎症重症化予防、健診異常値放置者受診勧奨といった各種保健指導を行うことが大切である。また、重複・頻回といった受診行動の適正化も医療費適正化に有効な手立てといえる。次に対策としての具体的な事業内容を示す。

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

	事業名	事業目的	事業概要
①	特定健診 受診率向上対策	特定健診の受診率の向上を図ることにより、被保険者の健康増進につなげる。	特定健診の受診率を向上させる目的として、自己負担の無料化を行う。
②	特定保健指導	対象者に指導を行う事で、被保険者の生活習慣の改善につなげる。	特定健診とのセット券を発行し、同日受診を行う。自己負担は無料とする。
③	健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健診を受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
④	生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
⑤	受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診・重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
⑥	糖尿病性腎症 重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

評価指数・評価					
アウトプット評価			アウトカム評価		
指標	目標値	現状	指標	目標値	現状
受診率	70%		特定健診受診率	R3 52% R4 54% R5 55%	49%
実施率	40%		特定保健指導実施率	R3 25% R4 27% R5 30%	20%
対象者への 通知	100%		対象者の医療機関受診率	15%	5%
対象者への 通知	100%		対象者の医療機関受診率	15%	10%
対象者への 指導実施率	15%		(1)指導完了者の受診行動適正化割合 (2)指導完了者の医療費減少率 (3)重複・頻回受診者、重複服薬者減少率	(1) 100% (2) 50%	(1) 90% (2) 114%
対象者への 指導実施率	15%		指導完了者の検査値改善率	100%	100%

2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
特定健診 受診率向上対策	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導	P	D	CA	P	D	CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業	P	D	CA	P	D	CA
生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	P	D	CA	P	D	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業	P	D	CA	P	D	CA
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)	P	D	CA	P	D	CA

3. 各事業の実施内容と評価方法

本データヘルス計画における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

(1) 特定健診受診率向上対策

【事業目的】

特定健診の受診率の向上を図ることにより、被保険者の健康増進につなげる。

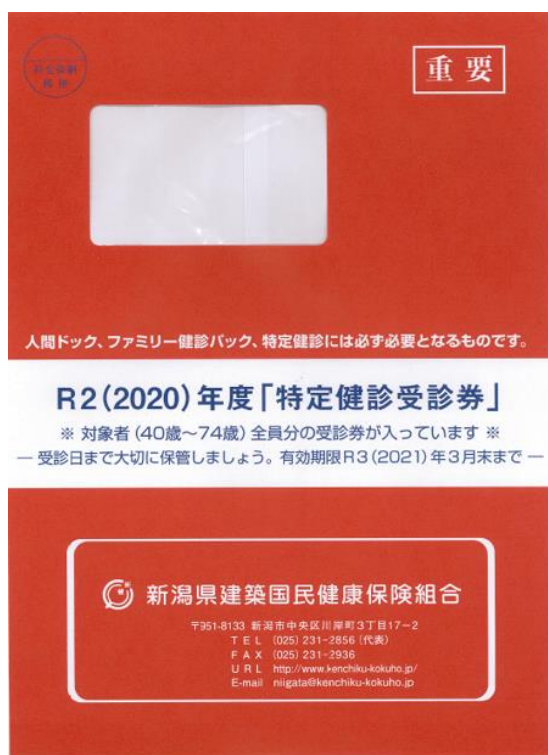
【事業概要】

特定健診の受診率を向上させる目的として、案内通知率を上げる。

【実施内容】

特定健診受診券を目立つように赤い封筒で郵送する。

通知書デザイン



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
受診率	短期	特定健診受診率 R3 52% R4 54% R5 55%	特定健診受診率を確認する。

(2) 特定保健指導

【事業目的】

対象者に指導を行う事で、被保険者の生活習慣の改善につなげる。

【事業概要】

特定健診とのセット券を発行し、同日受診を行う。自己負担は無料とする。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
実施率	短期	特定保健指導実施率 R3 25% R4 27% R5 30%	特定保健指導実施率を確認する。

(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業

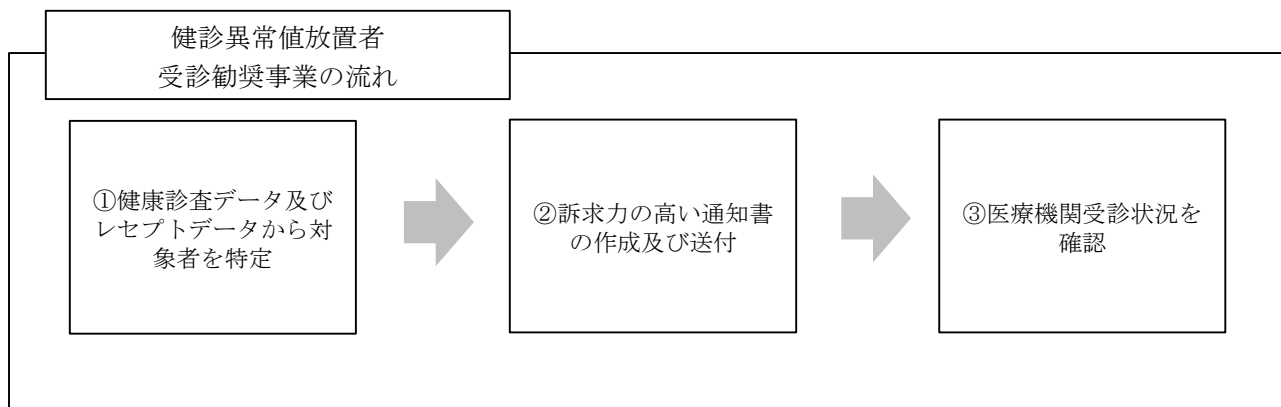
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

1234567 0000000001
■●●●●●●● 1丁目 2-3-4
サンプル 花子 様

999999

あなたの健康に関する
大切なお知らせです。

新潟県健康国民健康保険組合
新潟市中央区川岸町3-17-2
TEL 025-231-2856 FAX 025-231-2936

あなたの健康状態を確認しましょう。

生活習慣病は、自覚症状がないまま徐々に進行します。気づいたときには病状がかなり悪化し、脳卒中、心臓病や糖尿病の合併症などを発症するリスクが高まっています。健診の結果、「要治療」、「要精密検査」と判定された方は、早急にめりつけ医に相談するか、医療機関を受診されることをお勧めします。

医師の指示に基づき定期的に治療を受けている方や、既に病気が治癒し、医師より「受診の必要なし」と判別いただいた方にこの「お知らせ」が届いた場合はご迷惑ください。

特定健康診査 リーダーシート の使い方

各々の検査項目について、「要治療・精密検査ゾーン」、「要経過観察・生活改善ゾーン」、「要健康増進ゾーン」、「要再検査ゾーン」のうち、自分ひとりのポジションにいるかを確認し、どの項目に注意が必要か知ることができます。

例

あなたの検査数値を
例にします。
ご自身の検査数値が
どの位置に位置する
かを把握します。

検査項目の判定結果

項目	判定結果
血圧	要治療
血糖	要経過観察
脂質	要健康増進
腎機能	要再検査

※1 この検査結果は、医師の指示に基づき定期的に検査を受ける必要があります。

あなたのデータは裏面でお知らせしています。

あなたのお体の状態についてのお知らせ

平成28年08月30日に受けられた特定健康診査結果は以下の通りです。
あなたの健康のため、医療機関の受診をお勧めします。

糖尿病の発症リスク

同性同年齢と比べた
あなたの現在のリスク **1.3 倍**

心血管病の発症リスク

同性同年齢と比べた
あなたの現在のリスク **1.7 倍**

※あなたの検査値をもとに、10年間の糖尿病、心血管病の発症リスク^{※1}を予測しています。
また、10年間の発症リスクとは、現在の健康状態（本誌上の検査結果）をもとに、その後10年の間に治療が必要であると医学的に診断が下される状態になる確率を科学的に推計し、リスク（危険度）として表したものです。

あなたの数値

平成28年08月30日の
受診結果

項目	数値	単位	判定
血圧	178	mmHg	要治療
血糖	107	mg/dL	要経過観察
脂質	133	mg/dL	要健康増進
腎機能	141	mg/dL	要再検査
尿酸	39	mg/dL	要健康増進
ヘモグロビンA1c	5.8	%	要経過観察
LDLコレステロール	93	mg/dL	要健康増進
HDLコレステロール	28.8	mg/dL	要健康増進

※平成28年08月30日検査

右図はあなたの
特定健康診査の
結果です。

最高血圧
最低血圧
BMI
空腹時血糖
LDLコレステロール
中性脂肪
HbA1c (NGSP)
HDLコレステロール

※1 この発症予測は、新潟県久山地域における疫学研究に関する次の論文にもとづいています。
T. Sakuma et al. Hypertension Res. 39:1135-1140, 2012. J. Sakai et al. Diabetes Med. 29:1027-1034, 2016.

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 15%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者 15% 減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

(4) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

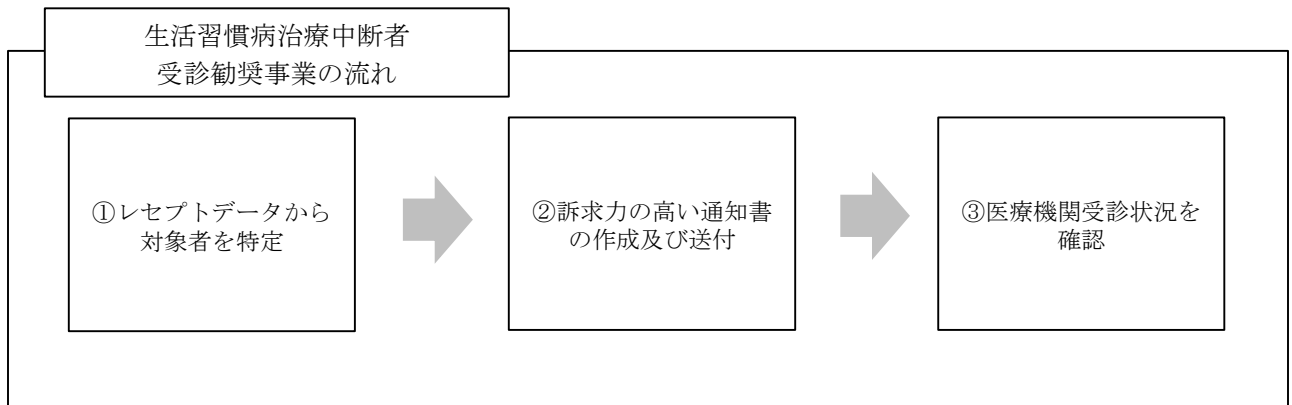
【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

【実施概要】

かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン

1234567 0000000001
■■■■■■■■■■：丁目2-34

サンプル 花子 様

99999

あなたの健康に関する
大切なお知らせです。

新潟県保健衛生局健康保険組合
新潟市中央区川岸町3-17-2
TEL 025-231-2856 FAX 025-231-2906

**あなたは医療機関での
生活習慣病の治療を中断
されていないでしょうか？**

**この通知は診療報酬明細書(レセプト)
を基に、生活習慣病の受診を中断されて
いると思われる方に送付しています。**

生活習慣病は継続して治療を受けることが大切です。
もし、中断されているのであれば、なるべく早く
治療を再開されることをお勧めします。

なお、医師の指示に基づき定期的に治療を受けら
れている方や、既に病気が完治
し、医師より「受診の必要なし」
と判断をいただいた方にこの
「お知らせ」が届いた場合は
ご容赦ください。

【生活習慣病の治療を怠ったとき、裏面のようなことが考えられます】

【生活習慣病の治療を怠ったとき、次のようなことが考えられます】

**生活習慣病は、自覚症状が出にくいこともあり、
気づいたときには病状がかなり悪化していることも...**

**治療せず
放っておくと**

腎不全
狭心症
脳梗塞
脳出血
心筋梗塞
など...

最悪の場合
「失明」「四肢切断」
「人工透析」「半身の麻痺」
「認知症」など
将来、介護が必要になる
危険性が高くなり、
深刻な事態を招きます。

生活習慣病は、早めの予防、早めの治療がなにより大切です。
ぜひ早めに医療機関を受診しましょう。

Q 特に今は悪いところがないので、
通院していないのですが..

A 生活習慣病は自覚症状が出にくいこともあります。
気づいたときにはかなり病状が悪化していることも少な
くありません。
生活習慣病は早めの予防、早めの治療が何より重要
です。医療機関での受診を中断されている場合は早めに
治療を再開されることをお勧めします。

医療機関での医療費等の窓口負担(一部負担金)は、ご本人の負担になります。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 15%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	生活習慣病治療中断者 15% 減少	生活習慣病治療中断者数の推移により確認する。

(5) 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

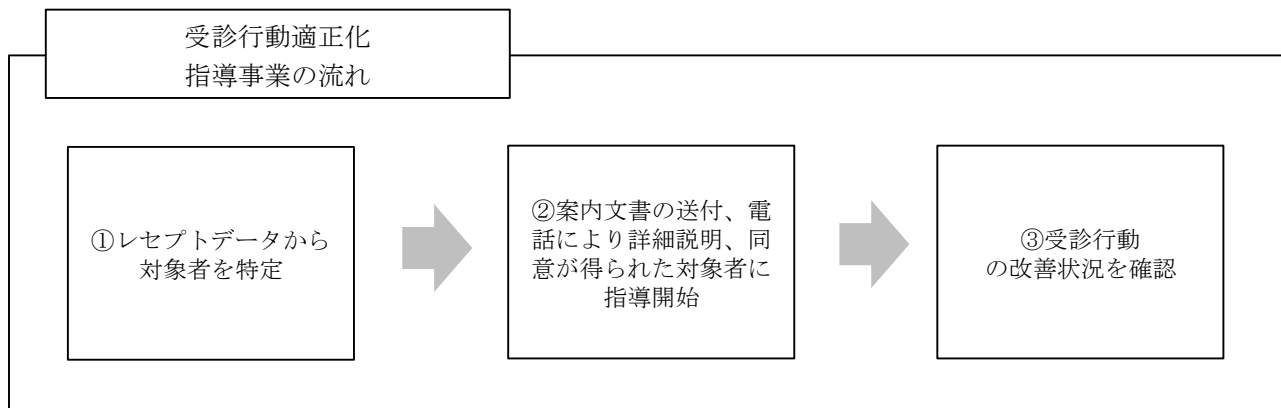
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者の指導実施率 15% 以上	短期	指導完了者の受診行動適正化 100% 指導完了者の医療費 50% 減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期	重複・頻回受診者、重複服薬者 30% 減少	多受診対象者数の推移により確認する。

(6)糖尿病性腎症重症化予防事業

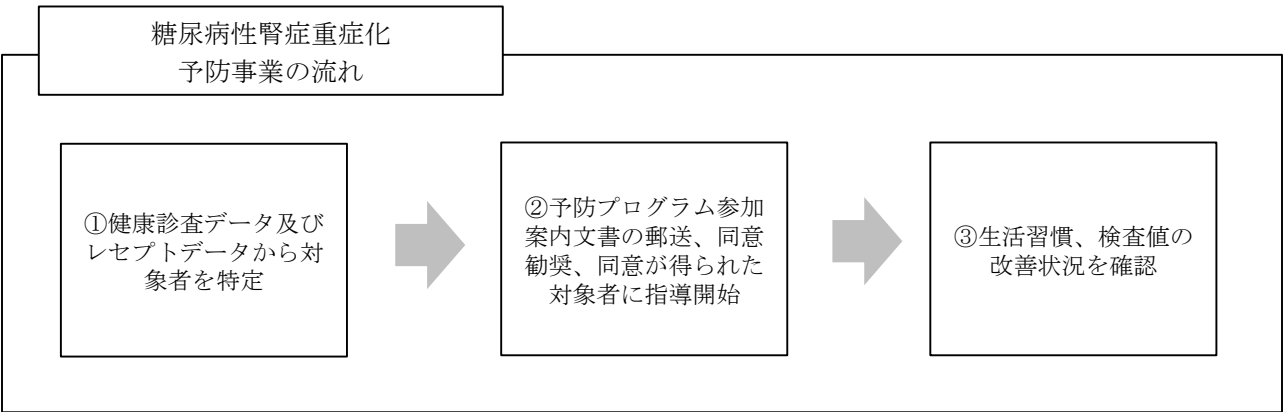
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

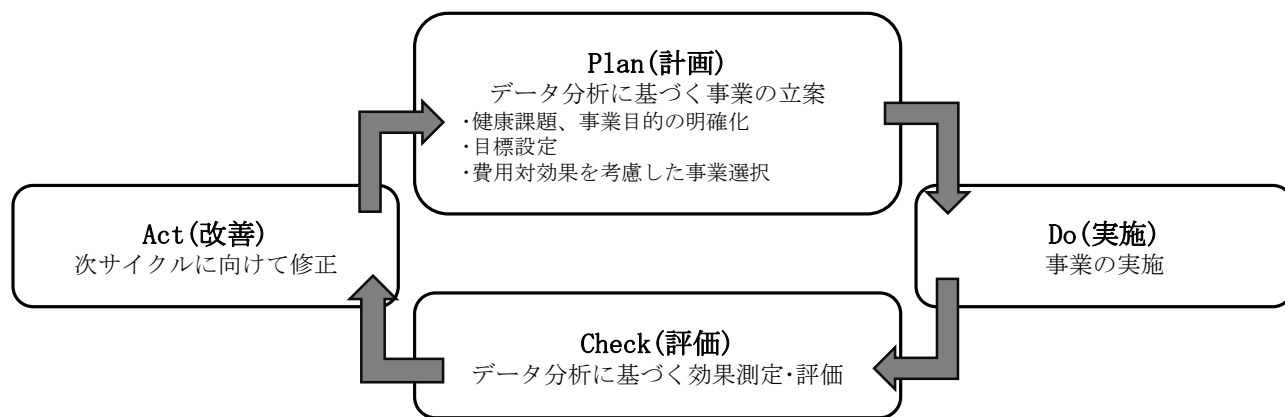
アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
対象者の指導実施率 15% 以上	短期	指導完了者の検査値改善率 100%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期	新規人工透析患者割合 10%	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

第4章 その他

1. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

3. 事業運営上の留意事項

保健事業の推進に当たっては、他部門との連携が重要になる。組合員が所属する事業所との連携により事業を実施し、組合全体の健康水準の底上げを図る。

4. 個人情報の保護

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

年度別 特定健康診査結果分析

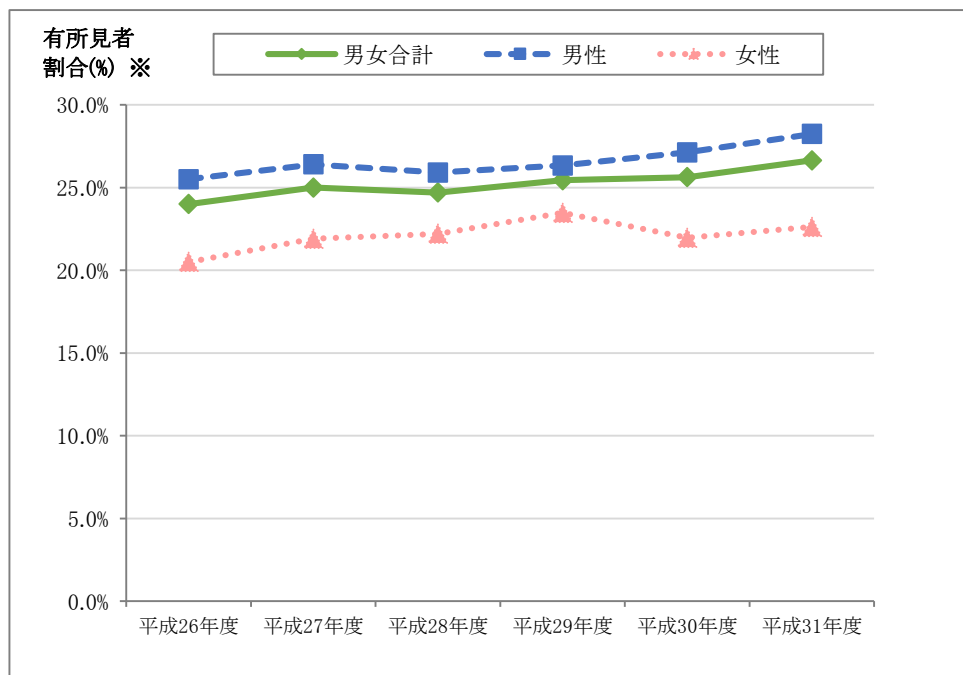
1. 有所見者割合

平成26(2014)年度から平成31(2019)年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	1,153	1,231	1,084	1,077	1,203	1,231
	有所見者割合(%) ※	24.0%	25.0%	24.7%	25.4%	25.6%	26.6%
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020	2,909	3,337	3,308
	有所見者数(人) ※	856	898	782	766	905	934
	有所見者割合(%) ※	25.5%	26.4%	25.9%	26.3%	27.1%	28.2%
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361	1,325	1,357	1,313
	有所見者数(人) ※	297	333	302	311	298	297
	有所見者割合(%) ※	20.5%	21.9%	22.2%	23.5%	22.0%	22.6%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

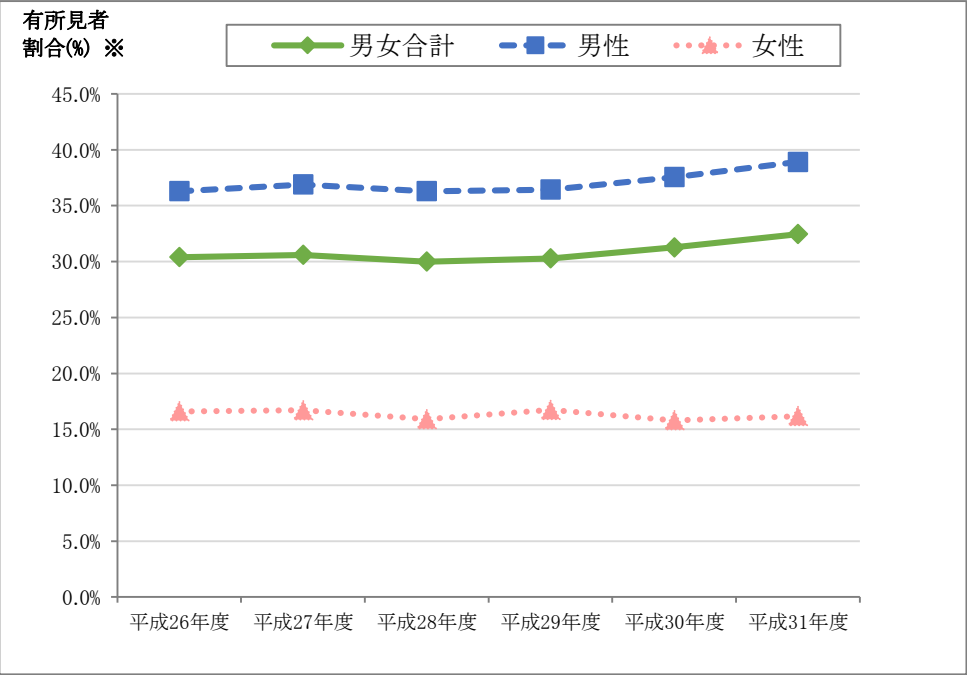
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,230	4,691	4,618
	有所見者数(人) ※	1,462	1,507	1,313	1,281	1,467	1,499
	有所見者割合(%) ※	30.4%	30.6%	30.0%	30.3%	31.3%	32.5%
男性	対象者数(人) ※	3,362	3,397	3,020	2,909	3,337	3,307
	有所見者数(人) ※	1,222	1,253	1,097	1,060	1,253	1,287
	有所見者割合(%) ※	36.3%	36.9%	36.3%	36.4%	37.5%	38.9%
女性	対象者数(人) ※	1,442	1,521	1,357	1,321	1,354	1,311
	有所見者数(人) ※	240	254	216	221	214	212
	有所見者割合(%) ※	16.6%	16.7%	15.9%	16.7%	15.8%	16.2%

年度別 有所見者割合(腹囲)

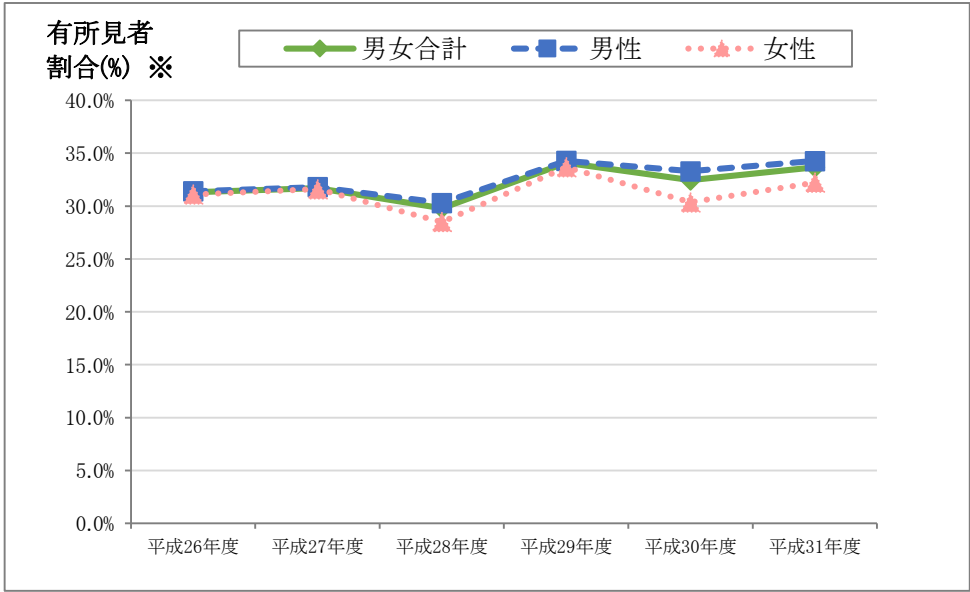


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	1,506	1,560	1,304	1,443	1,523	1,556
	有所見者割合(%) ※	31.3%	31.7%	29.8%	34.1%	32.4%	33.7%
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020	2,909	3,337	3,308
	有所見者数(人) ※	1,057	1,079	916	997	1,111	1,133
	有所見者割合(%) ※	31.4%	31.8%	30.3%	34.3%	33.3%	34.3%
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361	1,325	1,357	1,313
	有所見者数(人) ※	449	481	388	446	412	423
	有所見者割合(%) ※	31.1%	31.6%	28.5%	33.7%	30.4%	32.2%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

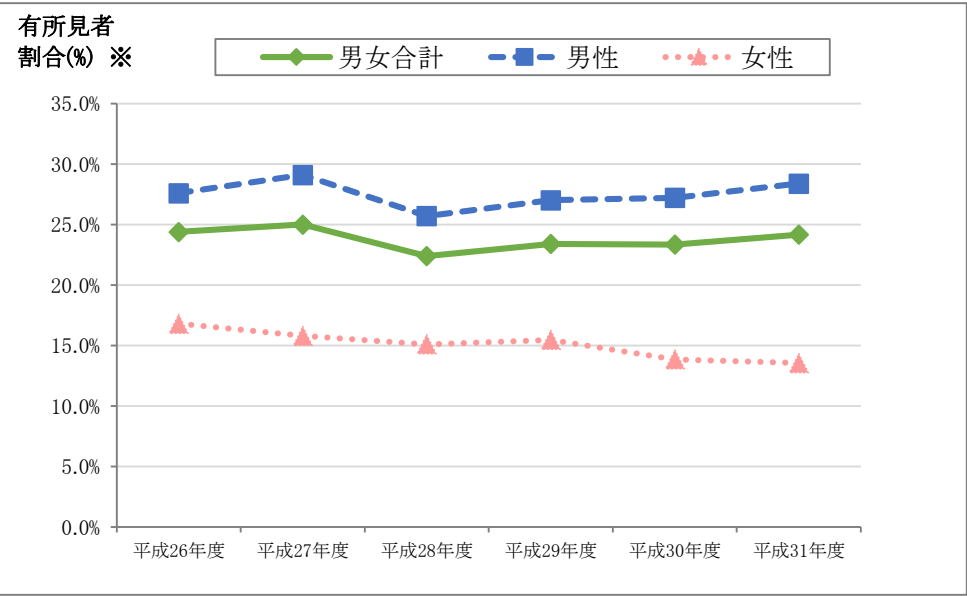


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	1,172	1,230	981	991	1,096	1,117
	有所見者割合(%) ※	24.4%	25.0%	22.4%	23.4%	23.3%	24.2%
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020	2,909	3,337	3,308
	有所見者数(人) ※	929	989	776	786	908	939
	有所見者割合(%) ※	27.6%	29.1%	25.7%	27.0%	27.2%	28.4%
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361	1,325	1,357	1,313
	有所見者数(人) ※	243	241	205	205	188	178
	有所見者割合(%) ※	16.8%	15.8%	15.1%	15.5%	13.9%	13.6%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

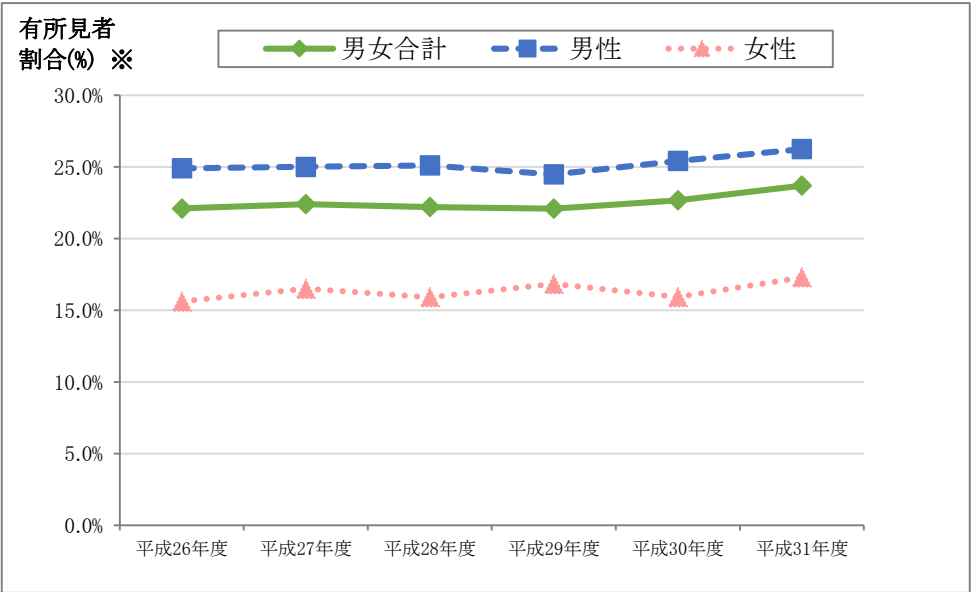
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	1,063	1,102	973	935	1,064	1,095
	有所見者割合(%) ※	22.1%	22.4%	22.2%	22.1%	22.7%	23.7%
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020	2,909	3,337	3,308
	有所見者数(人) ※	838	850	757	712	848	868
	有所見者割合(%) ※	24.9%	25.0%	25.1%	24.5%	25.4%	26.2%
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361	1,325	1,357	1,313
	有所見者数(人) ※	225	252	216	223	216	227
	有所見者割合(%) ※	15.6%	16.5%	15.9%	16.8%	15.9%	17.3%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

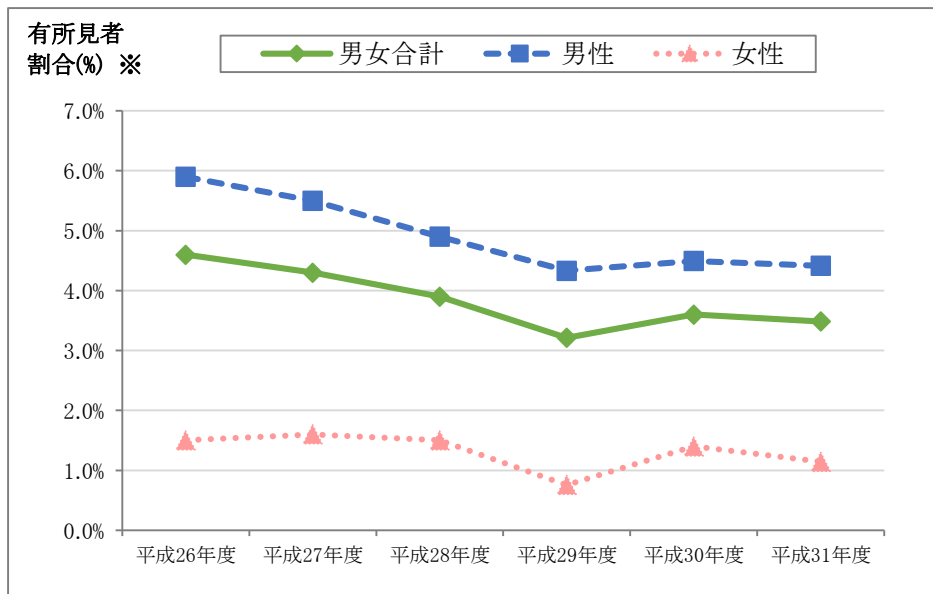
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,234	4,694	4,621
	有所見者数(人) ※	219	211	169	136	169	161
	有所見者割合(%) ※	4.6%	4.3%	3.9%	3.2%	3.6%	3.5%
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020	2,909	3,337	3,308
	有所見者数(人) ※	197	186	149	126	150	146
	有所見者割合(%) ※	5.9%	5.5%	4.9%	4.3%	4.5%	4.4%
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361	1,325	1,357	1,313
	有所見者数(人) ※	22	25	20	10	19	15
	有所見者割合(%) ※	1.5%	1.6%	1.5%	0.8%	1.4%	1.1%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

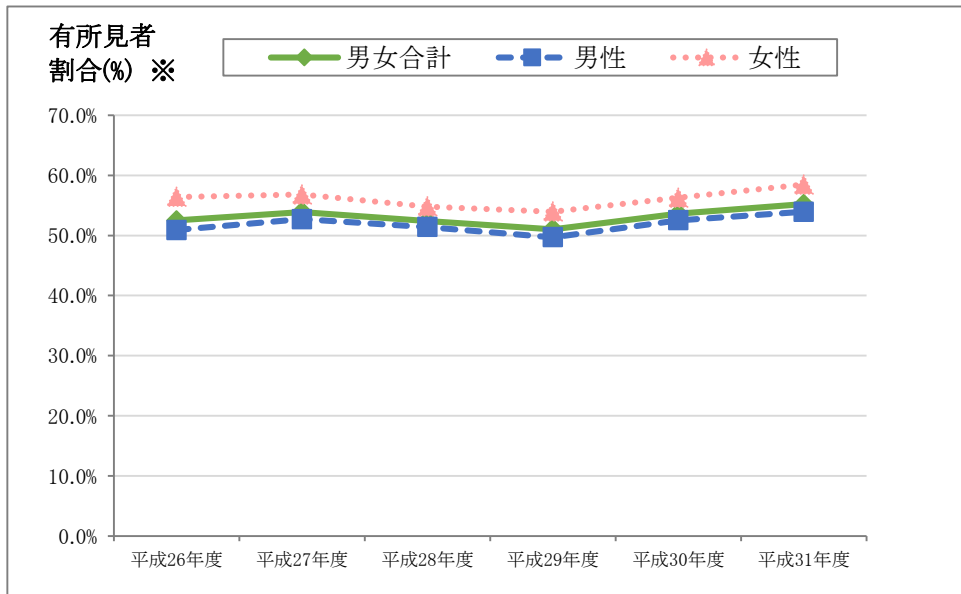
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,234	4,691	4,618
	有所見者数(人) ※	2,526	2,654	2,297	2,161	2,515	2,550
	有所見者割合(%) ※	52.5%	53.9%	52.4%	51.0%	53.6%	55.2%
男性	対象者数(人) ※	3,363	3,397	3,020	2,909	3,335	3,306
	有所見者数(人) ※	1,711	1,789	1,551	1,446	1,752	1,783
	有所見者割合(%) ※	50.9%	52.7%	51.4%	49.7%	52.5%	53.9%
女性	対象者数(人) ※	1,446	1,523	1,361	1,325	1,356	1,312
	有所見者数(人) ※	815	865	746	715	763	767
	有所見者割合(%) ※	56.4%	56.8%	54.8%	54.0%	56.3%	58.5%

年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

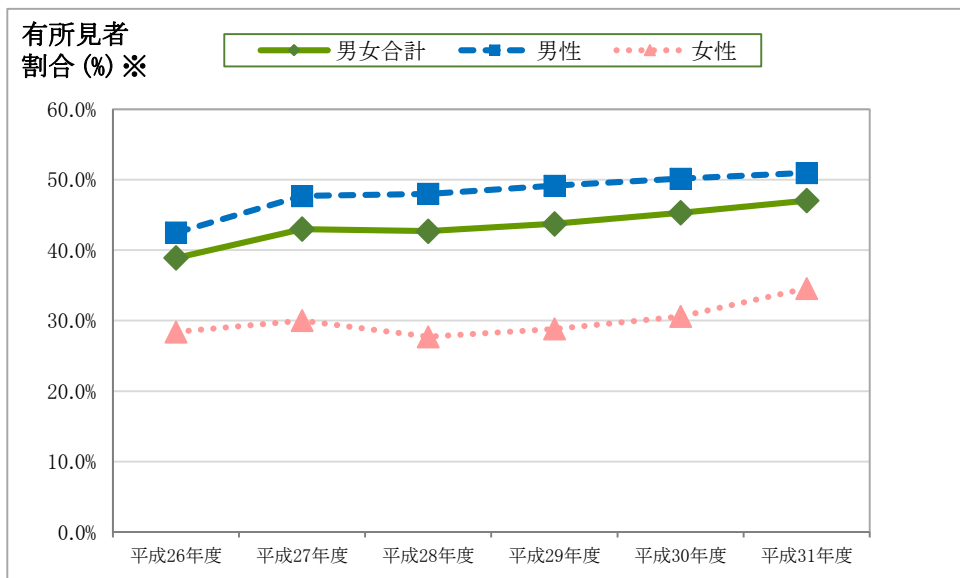
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,134	4,172	3,625	3,521	4,020	3,921
	有所見者数(人) ※	1,607	1,796	1,549	1,540	1,821	1,844
	有所見者割合(%) ※	38.9%	43.0%	42.7%	43.7%	45.3%	47.0%
男性	対象者数(人) ※	3,067	3,075	2,684	2,584	3,023	2,981
	有所見者数(人) ※	1,304	1,467	1,288	1,270	1,516	1,519
	有所見者割合(%) ※	42.5%	47.7%	48.0%	49.1%	50.1%	51.0%
女性	対象者数(人) ※	1,067	1,097	941	937	997	940
	有所見者数(人) ※	303	329	261	270	305	325
	有所見者割合(%) ※	28.4%	30.0%	27.7%	28.8%	30.6%	34.6%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

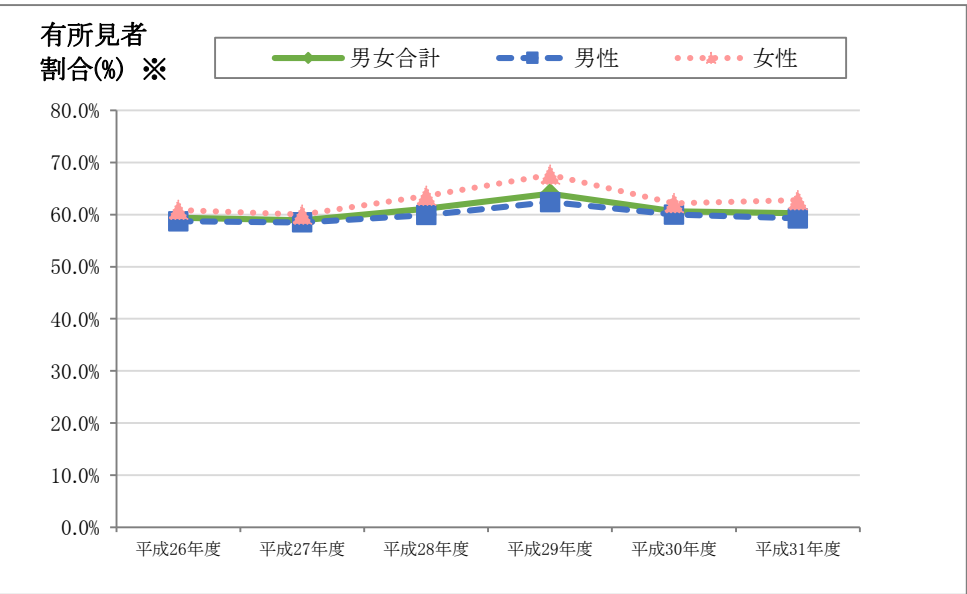
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	対象者数(人) ※	4,652	4,725	4,185	4,039	4,685	4,618
	有所見者数(人) ※	2,761	2,784	2,555	2,586	2,841	2,783
	有所見者割合(%) ※	59.4%	58.9%	61.1%	64.0%	60.6%	60.3%
男性	対象者数(人) ※	3,268	3,278	2,894	2,781	3,331	3,305
	有所見者数(人) ※	1,918	1,916	1,734	1,735	1,999	1,959
	有所見者割合(%) ※	58.7%	58.5%	59.9%	62.4%	60.0%	59.3%
女性	対象者数(人) ※	1,384	1,447	1,291	1,258	1,354	1,313
	有所見者数(人) ※	843	868	821	851	842	824
	有所見者割合(%) ※	60.9%	60.0%	63.6%	67.6%	62.2%	62.8%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。
※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。
HbA1c:5.6%以上

2. 質問別回答状況

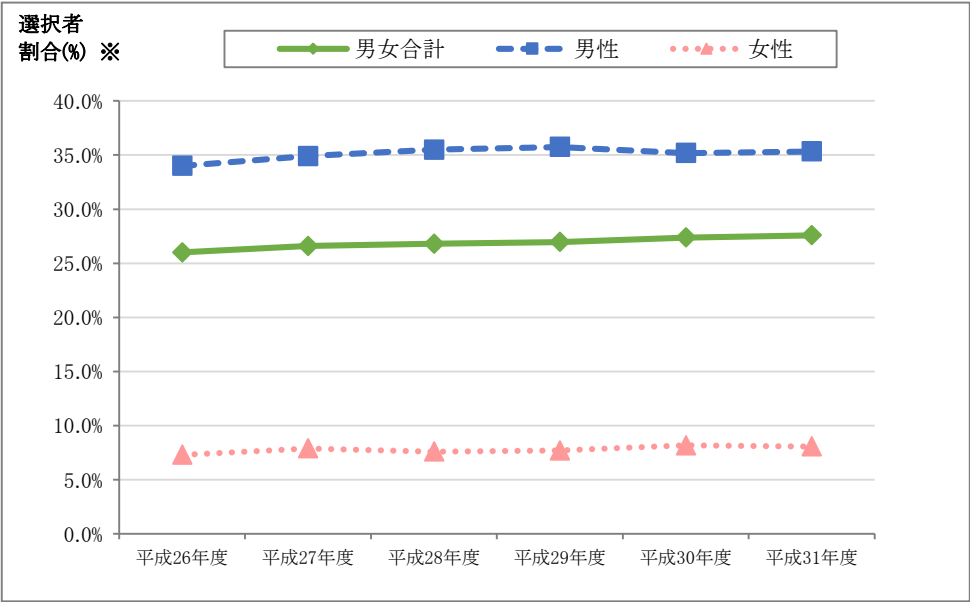
平成26年度から平成31年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

①喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,809	4,920	4,381	4,234	4,694	4,621
	選択者数(人) ※	1,250	1,308	1,176	1,142	1,285	1,275
	選択者割合(%) ※	26.0%	26.6%	26.8%	27.0%	27.4%	27.6%
男性	質問回答者数(人) ※	3,363	3,397	3,020	2,909	3,337	3,308
	選択者数(人) ※	1,144	1,187	1,073	1,040	1,174	1,169
	選択者割合(%) ※	34.0%	34.9%	35.5%	35.8%	35.2%	35.3%
女性	質問回答者数(人) ※	1,446	1,523	1,361	1,325	1,357	1,313
	選択者数(人) ※	106	121	103	102	111	106
	選択者割合(%) ※	7.3%	7.9%	7.6%	7.7%	8.2%	8.1%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

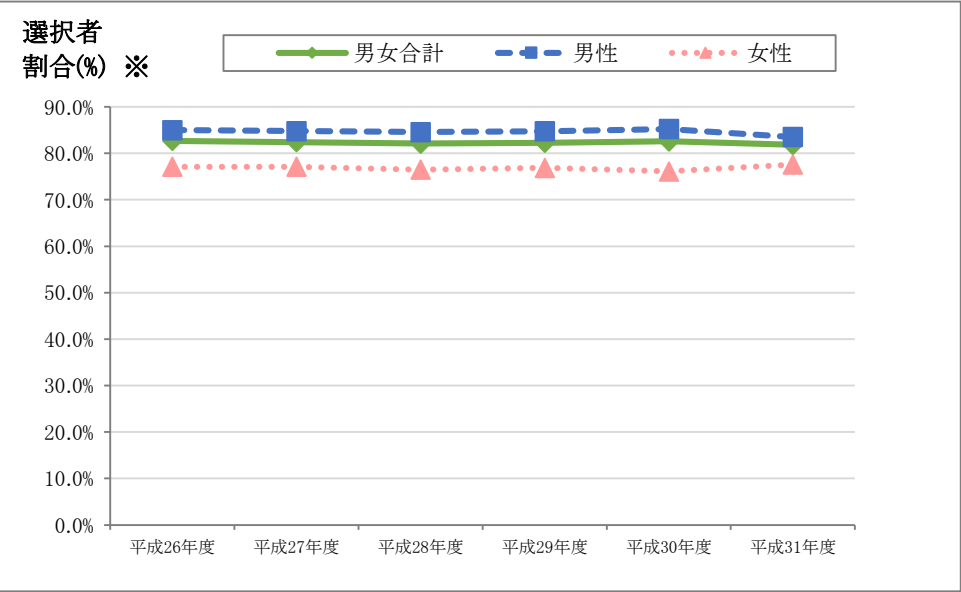
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,809	4,916	4,376	4,226	4,689	4,619
	選択者数(人) ※	3,975	4,051	3,592	3,477	3,873	3,780
	選択者割合(%) ※	82.7%	82.4%	82.1%	82.3%	82.6%	81.8%
男性	質問回答者数(人) ※	3,363	3,395	3,016	2,904	3,336	3,306
	選択者数(人) ※	2,860	2,879	2,552	2,461	2,843	2,761
	選択者割合(%) ※	85.0%	84.8%	84.6%	84.7%	85.2%	83.5%
女性	質問回答者数(人) ※	1,446	1,521	1,360	1,322	1,353	1,313
	選択者数(人) ※	1,115	1,172	1,040	1,016	1,030	1,019
	選択者割合(%) ※	77.1%	77.1%	76.5%	76.9%	76.1%	77.6%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

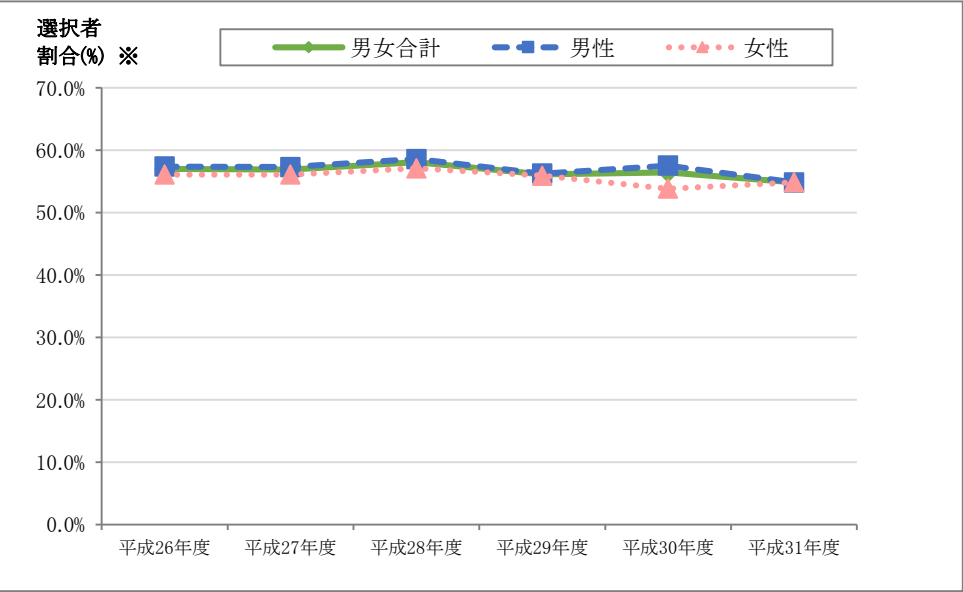


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。
1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,808	4,915	4,374	4,227	4,691	4,618
	選択者数(人) ※	2,740	2,798	2,542	2,374	2,649	2,533
	選択者割合(%) ※	57.0%	56.9%	58.1%	56.2%	56.5%	54.9%
男性	質問回答者数(人) ※	3,362	3,395	3,017	2,904	3,337	3,306
	選択者数(人) ※	1,930	1,945	1,767	1,634	1,920	1,813
	選択者割合(%) ※	57.4%	57.3%	58.6%	56.3%	57.5%	54.8%
女性	質問回答者数(人) ※	1,445	1,520	1,357	1,323	1,354	1,312
	選択者数(人) ※	810	853	775	740	729	720
	選択者割合(%) ※	56.1%	56.1%	57.1%	55.9%	53.8%	54.9%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



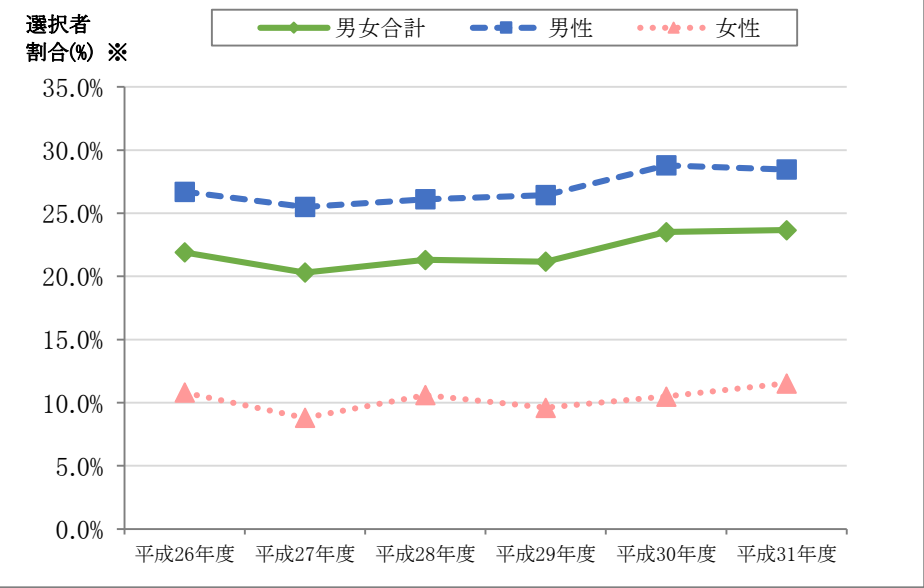
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,807	4,915	4,374	4,228	4,688	4,616
	選択者数(人) ※	1,053	999	931	895	1,102	1,092
	選択者割合(%) ※	21.9%	20.3%	21.3%	21.2%	23.5%	23.7%
男性	質問回答者数(人) ※	3,362	3,393	3,015	2,905	3,334	3,306
	選択者数(人) ※	897	865	787	768	960	941
	選択者割合(%) ※	26.7%	25.5%	26.1%	26.4%	28.8%	28.5%
女性	質問回答者数(人) ※	1,445	1,522	1,359	1,323	1,354	1,310
	選択者数(人) ※	156	134	144	127	142	151
	選択者割合(%) ※	10.8%	8.8%	10.6%	9.6%	10.5%	11.5%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

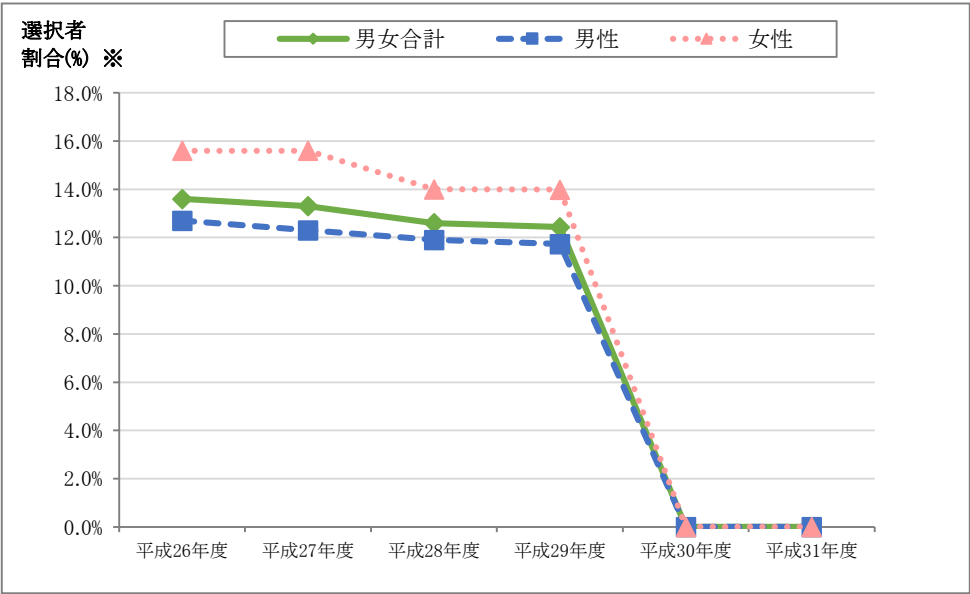


データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。
週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	4,805	4,915	4,376	4,230	0	0
	選択者数(人) ※	653	656	550	526	0	0
	選択者割合(%) ※	13.6%	13.3%	12.6%	12.4%	0.0%	0.0%
男性	質問回答者数(人) ※	3,361	3,394	3,016	2,907	0	0
	選択者数(人) ※	428	418	359	341	0	0
	選択者割合(%) ※	12.7%	12.3%	11.9%	11.7%	0.0%	0.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,444	1,521	1,360	1,323	0	0
	選択者数(人) ※	225	238	191	185	0	0
	選択者割合(%) ※	15.6%	15.6%	14.0%	14.0%	0.0%	0.0%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



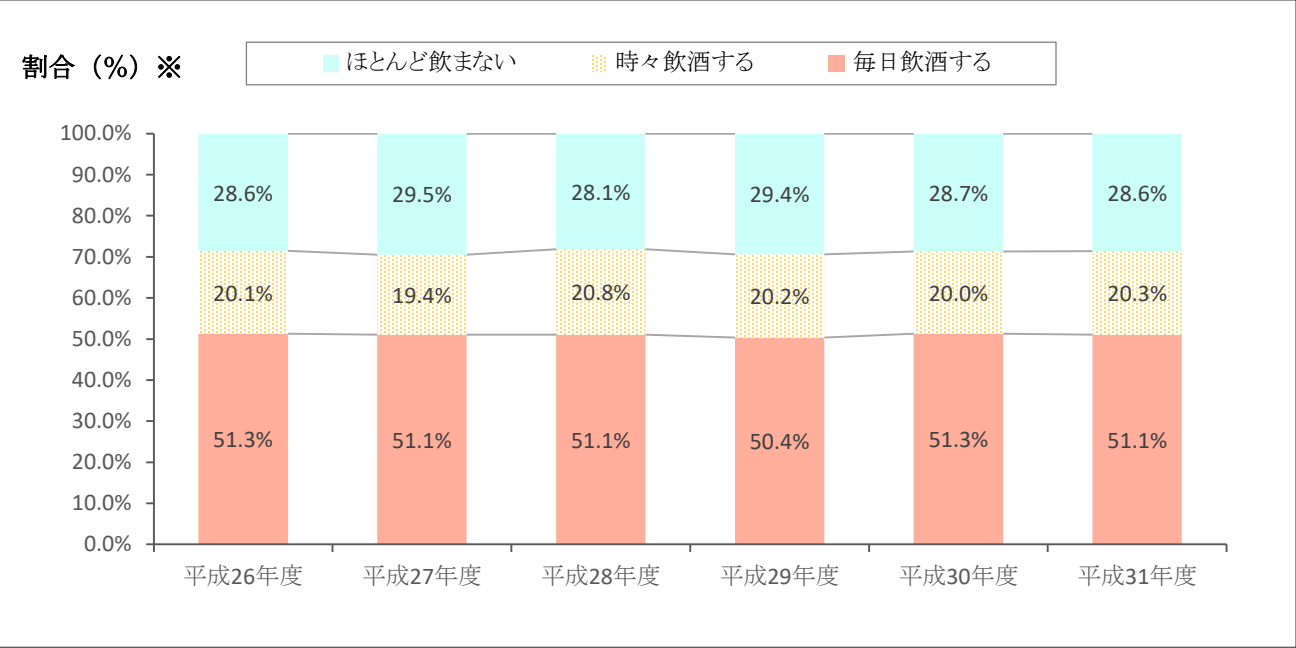
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,807	2,466	51.3%	968	20.1%	1,373	28.6%
平成27年度	4,911	2,509	51.1%	953	19.4%	1,449	29.5%
平成28年度	4,377	2,235	51.1%	911	20.8%	1,231	28.1%
平成29年度	4,232	2,132	50.4%	855	20.2%	1,245	29.4%
平成30年度	4,688	2,406	51.3%	936	20.0%	1,346	28.7%
平成31年度	4,618	2,359	51.1%	939	20.3%	1,320	28.6%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

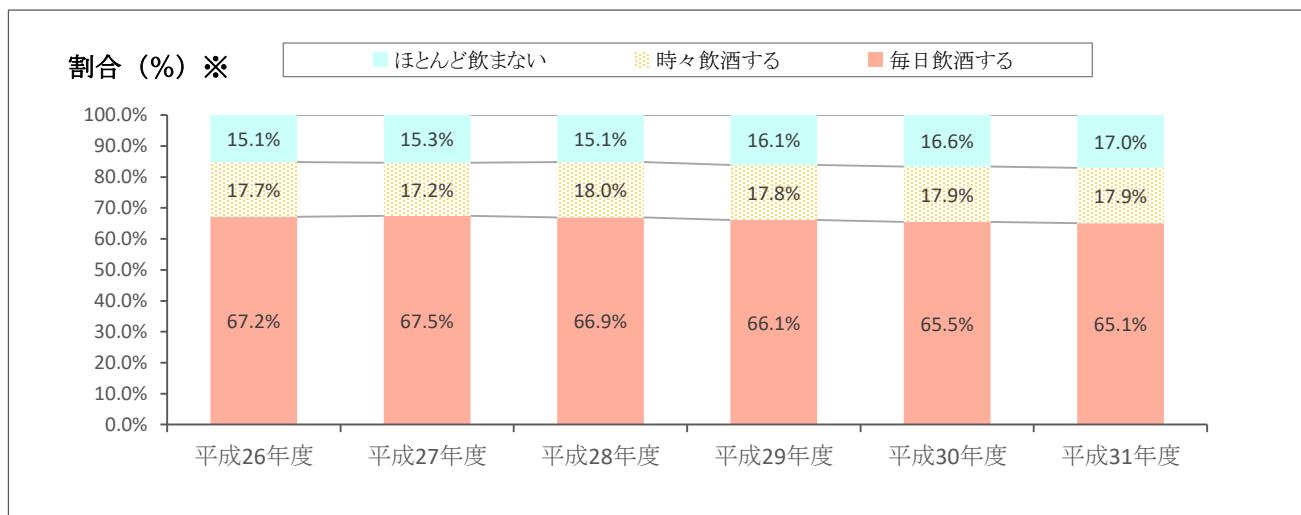
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,361	2,257	67.2%	595	17.7%	509	15.1%
平成27年度	3,391	2,288	67.5%	583	17.2%	520	15.3%
平成28年度	3,018	2,019	66.9%	542	18.0%	457	15.1%
平成29年度	2,909	1,922	66.1%	519	17.8%	468	16.1%
平成30年度	3,332	2,182	65.5%	597	17.9%	553	16.6%
平成31年度	3,307	2,152	65.1%	593	17.9%	562	17.0%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

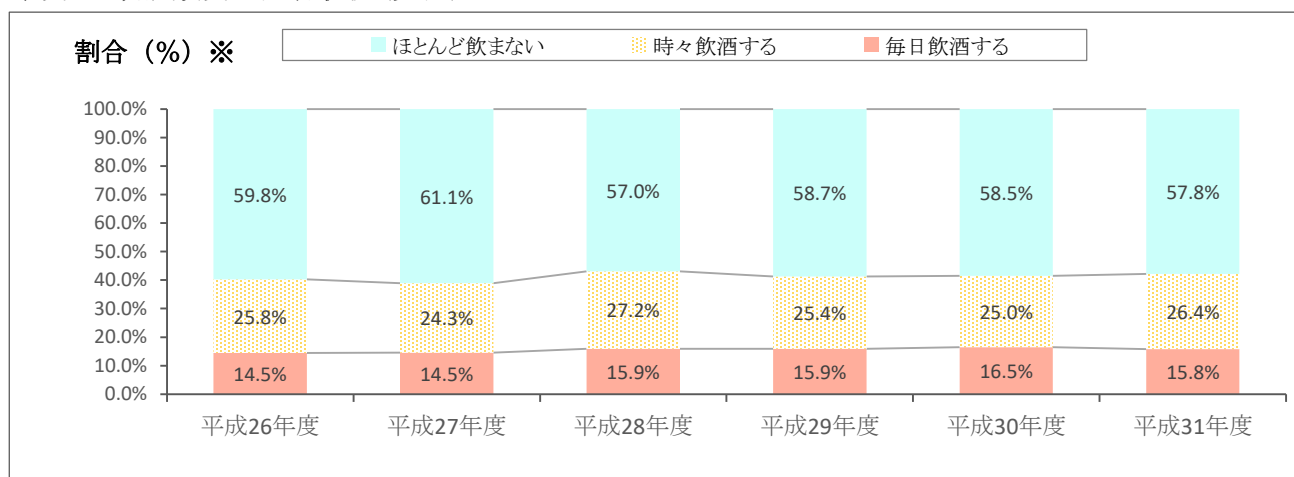
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数 (人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,446	209	14.5%	373	25.8%	864	59.8%
平成27年度	1,520	221	14.5%	370	24.3%	929	61.1%
平成28年度	1,359	216	15.9%	369	27.2%	774	57.0%
平成29年度	1,323	210	15.9%	336	25.4%	777	58.7%
平成30年度	1,356	224	16.5%	339	25.0%	793	58.5%
平成31年度	1,311	207	15.8%	346	26.4%	758	57.8%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

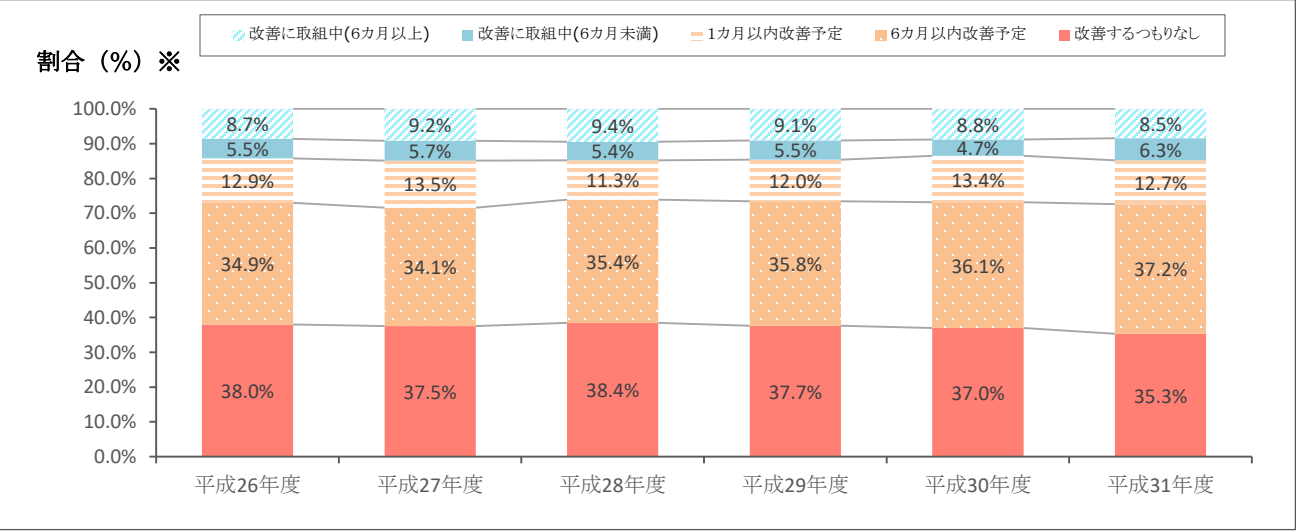
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,780	1,817	38.0%	1,669	34.9%	615	12.9%
平成27年度	4,888	1,834	37.5%	1,667	34.1%	659	13.5%
平成28年度	4,339	1,668	38.4%	1,538	35.4%	491	11.3%
平成29年度	4,206	1,584	37.7%	1,505	35.8%	504	12.0%
平成30年度	4,680	1,731	37.0%	1,691	36.1%	625	13.4%
平成31年度	4,613	1,630	35.3%	1,717	37.2%	585	12.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	4,780	265	5.5%	414	8.7%
平成27年度	4,888	279	5.7%	449	9.2%
平成28年度	4,339	233	5.4%	409	9.4%
平成29年度	4,206	230	5.5%	383	9.1%
平成30年度	4,680	220	4.7%	413	8.8%
平成31年度	4,613	290	6.3%	391	8.5%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

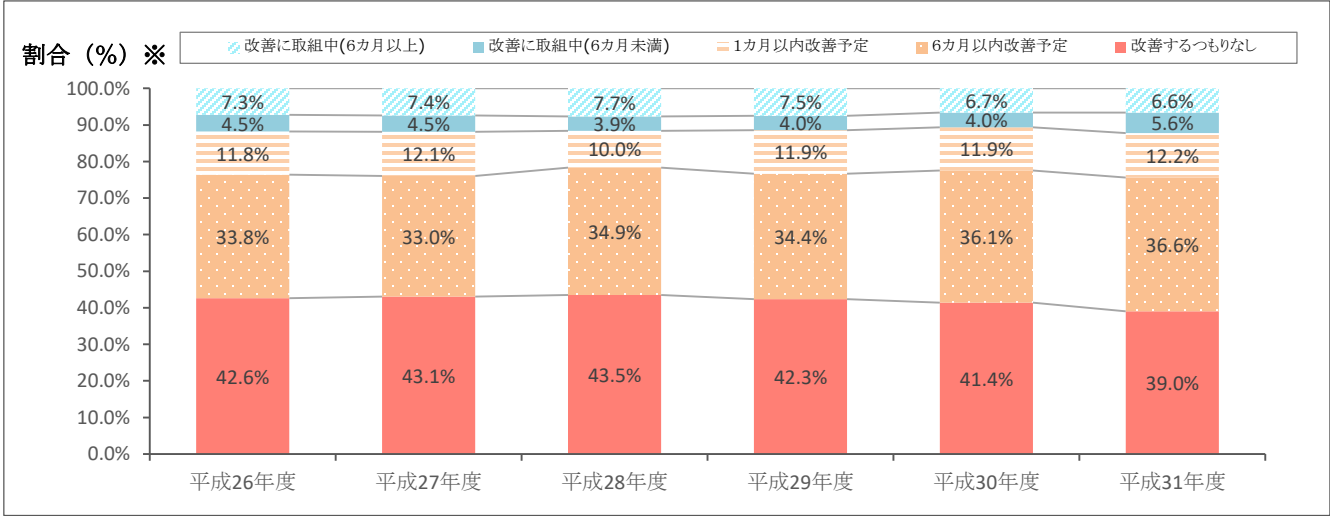
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,351	1,428	42.6%	1,131	33.8%	396	11.8%
平成27年度	3,381	1,456	43.1%	1,116	33.0%	408	12.1%
平成28年度	2,998	1,304	43.5%	1,045	34.9%	301	10.0%
平成29年度	2,893	1,224	42.3%	994	34.4%	343	11.9%
平成30年度	3,333	1,379	41.4%	1,204	36.1%	395	11.9%
平成31年度	3,305	1,290	39.0%	1,208	36.6%	403	12.2%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,351	152	4.5%	244	7.3%
平成27年度	3,381	151	4.5%	250	7.4%
平成28年度	2,998	117	3.9%	231	7.7%
平成29年度	2,893	115	4.0%	217	7.5%
平成30年度	3,333	133	4.0%	222	6.7%
平成31年度	3,305	186	5.6%	218	6.6%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



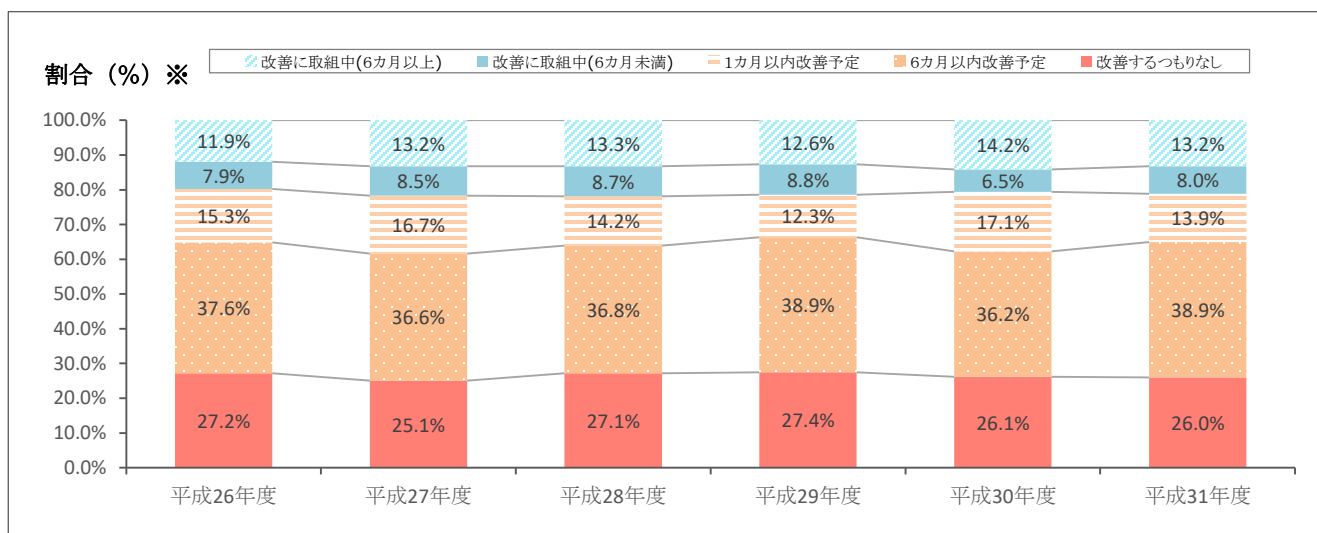
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。
資格確認日…各年度末時点。
※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,429	389	27.2%	538	37.6%	219	15.3%
平成27年度	1,507	378	25.1%	551	36.6%	251	16.7%
平成28年度	1,341	364	27.1%	493	36.8%	190	14.2%
平成29年度	1,313	360	27.4%	511	38.9%	161	12.3%
平成30年度	1,347	352	26.1%	487	36.2%	230	17.1%
平成31年度	1,308	340	26.0%	509	38.9%	182	13.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取組中(6カ月未満)		改善に取組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,429	113	7.9%	170	11.9%
平成27年度	1,507	128	8.5%	199	13.2%
平成28年度	1,341	116	8.7%	178	13.3%
平成29年度	1,313	115	8.8%	166	12.6%
平成30年度	1,347	87	6.5%	191	14.2%
平成31年度	1,308	104	8.0%	173	13.2%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～令和2年3月健診分(72カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

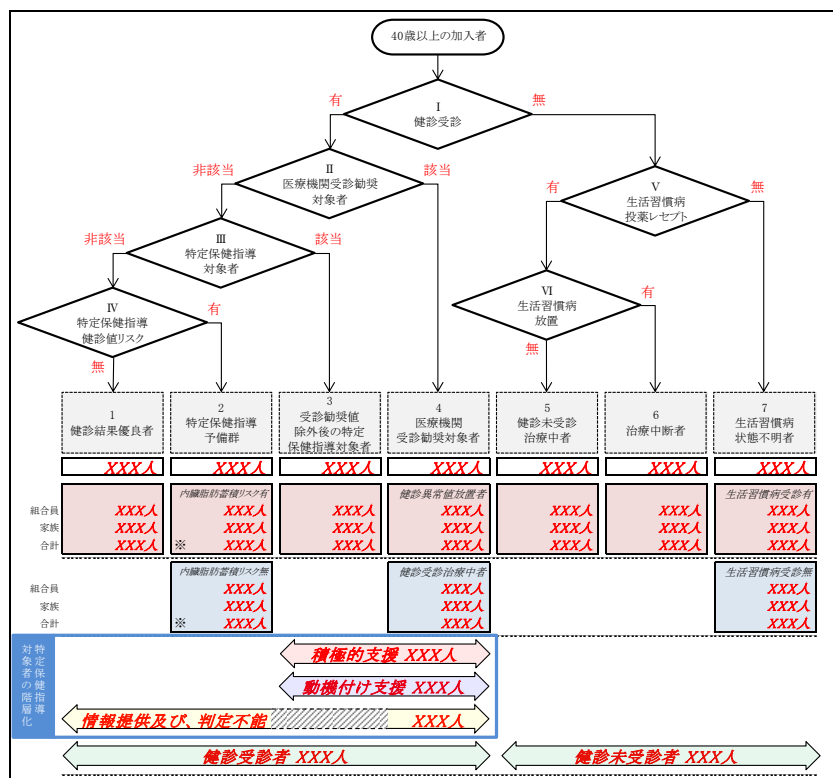
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

健診受診あり

- 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表 (2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管，気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	膀胱癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ．内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅵ. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Y a h r 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳癭孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
Ⅸ. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
Ⅹ. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I . 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV . 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性陰炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性陰炎	陰炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

4. 中分類による疾病別医療費統計(全項目)

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		3,184,770,320			202,084			16,005				
疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
Ⅰ. 感染症及び寄生虫症		75,004,950	2.4%		17,211	8.5%		4,820	30.1%		15,561	
0101	腸管感染症	15,364,681	0.5%	54	5,458	2.7%	31	2,039	12.7%	21	7,535	108
0102	結核	1,760,396	0.1%	105	222	0.1%	106	89	0.6%	98	19,780	68
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	1,220,056	0.0%	110	346	0.2%	97	198	1.2%	81	6,162	112
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	15,103,219	0.5%	56	3,542	1.8%	42	1,177	7.4%	33	12,832	86
0105	ウイルス性肝炎	11,320,669	0.4%	69	1,087	0.5%	76	300	1.9%	71	37,736	47
0106	その他のウイルス性疾患	6,294,017	0.2%	87	1,552	0.8%	64	543	3.4%	57	11,591	92
0107	真菌症	10,941,054	0.3%	71	2,854	1.4%	46	817	5.1%	39	13,392	82
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	26,057	0.0%	119	12	0.0%	118	4	0.0%	120	6,514	111
0109	その他の感染症及び寄生虫症	12,974,801	0.4%	64	4,208	2.1%	36	1,465	9.2%	27	8,857	101
Ⅱ. 新生物<腫瘍>		502,956,555	15.8%		11,695	5.8%		3,361	21.0%		149,645	
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	48,592,184	1.5%	22	1,831	0.9%	60	703	4.4%	46	69,121	26
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	43,238,198	1.4%	26	1,776	0.9%	61	695	4.3%	47	62,213	28
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	29,258,784	0.9%	35	374	0.2%	94	75	0.5%	99	390,117	3
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8,784,724	0.3%	76	443	0.2%	90	160	1.0%	85	54,905	31
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	82,553,254	2.6%	9	1,145	0.6%	73	381	2.4%	66	216,675	9
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	29,111,562	0.9%	36	771	0.4%	84	161	1.0%	84	180,817	11
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	9,539,337	0.3%	73	312	0.2%	100	151	0.9%	86	63,174	27
0208	悪性リンパ腫	26,240,501	0.8%	40	357	0.2%	95	64	0.4%	101	410,008	2
0209	白血病	16,920,391	0.5%	49	99	0.0%	111	25	0.2%	113	676,816	1
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	151,340,803	4.8%	3	4,071	2.0%	37	1,215	7.6%	32	124,560	16
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	57,376,817	1.8%	15	3,562	1.8%	41	1,467	9.2%	26	39,112	46
Ⅲ. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		21,076,629	0.7%		3,655	1.8%		1,080	6.7%		19,515	
0301	貧血	7,193,674	0.2%	83	2,550	1.3%	52	676	4.2%	48	10,642	95
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,882,955	0.4%	60	1,308	0.6%	70	497	3.1%	59	27,934	58
Ⅳ. 内分泌、栄養及び代謝疾患		295,565,667	9.3%		50,762	25.1%		5,526	34.5%		53,486	
0401	甲状腺障害	15,728,624	0.5%	52	3,289	1.6%	43	849	5.3%	38	18,526	72
0402	糖尿病	146,183,053	4.6%	4	22,326	11.0%	4	3,217	20.1%	11	45,441	40
0403	脂質異常症	88,565,420	2.8%	7	31,719	15.7%	2	2,753	17.2%	14	32,171	51
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	45,088,570	1.4%	23	11,449	5.7%	16	1,829	11.4%	22	24,652	62
Ⅴ. 精神及び行動の障害		118,591,517	3.7%		12,291	6.1%		1,294	8.1%		91,647	
0501	血管性及び詳細不明の認知症	2,415,786	0.1%	100	72	0.0%	112	33	0.2%	111	73,206	24
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	4,231,119	0.1%	92	357	0.2%	95	61	0.4%	102	69,363	25
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	39,487,026	1.2%	28	2,274	1.1%	54	185	1.2%	83	213,443	10

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,184,770,320	202,084	16,005

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	27,018,047	0.8%	38	5,442	2.7%	32	472	2.9%	61	57,242	30
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	12,091,362	0.4%	66	6,879	3.4%	28	755	4.7%	42	16,015	76
0506 知的障害<精神遅滞>	510,846	0.0%	115	324	0.2%	98	60	0.4%	103	8,514	103
0507 その他の精神及び行動の障害	32,837,331	1.0%	31	2,245	1.1%	55	292	1.8%	74	112,457	17
Ⅵ. 神経系の疾患	157,012,986	4.9%		21,282	10.5%		2,472	15.4%		63,517	
0601 パーキンソン病	6,350,654	0.2%	86	482	0.2%	89	41	0.3%	110	154,894	12
0602 アルツハイマー病	6,389,958	0.2%	85	430	0.2%	91	46	0.3%	108	138,912	14
0603 てんかん	28,039,802	0.9%	37	1,904	0.9%	59	211	1.3%	79	132,890	15
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	4,913,482	0.2%	90	260	0.1%	102	49	0.3%	107	100,275	19
0605 自律神経系の障害	759,409	0.0%	113	835	0.4%	80	98	0.6%	95	7,749	107
0606 その他の神経系の疾患	110,559,681	3.5%	6	18,971	9.4%	6	2,256	14.1%	19	49,007	38
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	129,092,044	4.1%		18,145	9.0%		5,269	32.9%		24,500	
0701 結膜炎	15,081,229	0.5%	57	8,792	4.4%	22	2,532	15.8%	17	5,956	113
0702 白内障	26,735,549	0.8%	39	5,981	3.0%	30	1,294	8.1%	30	20,661	65
0703 屈折及び調節の障害	16,192,877	0.5%	50	12,796	6.3%	14	3,780	23.6%	4	4,284	118
0704 その他の眼及び付属器の疾患	71,082,389	2.2%	11	11,580	5.7%	15	2,915	18.2%	13	24,385	64
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	29,815,372	0.9%		5,541	2.7%		1,628	10.2%		18,314	
0801 外耳炎	1,635,600	0.1%	106	1,105	0.5%	75	427	2.7%	64	3,830	121
0802 その他の外耳疾患	2,063,884	0.1%	102	1,026	0.5%	77	497	3.1%	59	4,153	119
0803 中耳炎	6,942,582	0.2%	84	1,996	1.0%	57	569	3.6%	54	12,201	89
0804 その他の中耳及び乳様突起の疾患	3,068,672	0.1%	96	259	0.1%	103	95	0.6%	97	32,302	50
0805 メニエール病	2,847,594	0.1%	97	806	0.4%	81	140	0.9%	87	20,340	66
0806 その他の内耳疾患	3,361,716	0.1%	94	421	0.2%	92	136	0.8%	88	24,719	61
0807 その他の耳疾患	9,895,324	0.3%	72	1,551	0.8%	65	530	3.3%	58	18,670	71
Ⅸ. 循環器系の疾患	468,136,647	14.7%		56,024	27.7%		4,967	31.0%		94,249	
0901 高血圧性疾患	166,977,406	5.2%	1	48,469	24.0%	1	3,713	23.2%	5	44,971	41
0902 虚血性心疾患	37,191,746	1.2%	30	5,139	2.5%	35	734	4.6%	43	50,670	35
0903 その他の心疾患	125,020,659	3.9%	5	9,751	4.8%	19	1,556	9.7%	24	80,347	23
0904 くも膜下出血	15,451,093	0.5%	53	161	0.1%	108	54	0.3%	106	286,131	6
0905 脳内出血	22,677,760	0.7%	43	390	0.2%	93	102	0.6%	94	222,331	8
0906 脳梗塞	54,377,928	1.7%	17	5,286	2.6%	34	650	4.1%	50	83,658	21
0907 脳動脈硬化(症)	9,243	0.0%	121	6	0.0%	121	3	0.0%	121	3,081	122
0908 その他の脳血管疾患	17,580,559	0.6%	48	1,375	0.7%	68	354	2.2%	68	49,663	36
0909 動脈硬化(症)	2,504,788	0.1%	98	1,187	0.6%	72	279	1.7%	75	8,978	100
0911 低血圧(症)	377,570	0.0%	116	204	0.1%	107	42	0.3%	109	8,990	99
0912 その他の循環器系の疾患	25,967,895	0.8%	41	1,998	1.0%	56	568	3.5%	55	45,718	39
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	313,436,426	9.8%		53,333	26.4%		9,275	58.0%		33,794	
1001 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	4,283,862	0.1%	91	1,954	1.0%	58	799	5.0%	40	5,362	114
1002 急性鼻咽頭炎及び急性扁桃炎	18,325,486	0.6%	46	8,053	4.0%	25	2,742	17.1%	15	6,683	110
1003 その他の急性上気道感染症	37,489,429	1.2%	29	16,112	8.0%	8	4,574	28.6%	1	8,196	105

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,184,770,320	202,084	16,005

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	19,240,965	0.6%	45	1,748	0.9%	62	709	4.4%	45	27,138	59
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	30,588,653	1.0%	34	13,065	6.5%	13	3,691	23.1%	7	8,287	104
1006 アレルギー性鼻炎	55,177,782	1.7%	16	21,526	10.7%	5	4,434	27.7%	2	12,444	87
1007 慢性副鼻腔炎	17,700,065	0.6%	47	6,043	3.0%	29	1,255	7.8%	31	14,104	80
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	5,956,093	0.2%	88	2,707	1.3%	49	798	5.0%	41	7,464	109
1009 慢性閉塞性肺疾患	11,668,839	0.4%	68	2,812	1.4%	48	463	2.9%	63	25,203	60
1010 喘息	68,420,775	2.1%	12	14,995	7.4%	11	2,324	14.5%	18	29,441	57
1011 その他の呼吸器系の疾患	44,584,477	1.4%	24	9,497	4.7%	21	3,428	21.4%	9	13,006	85
X I. 消化器系の疾患	256,854,296	8.1%		43,147	21.4%		6,535	40.8%		39,304	
1101 う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	7,928	0.0%	122	6	0.0%	121	2	0.0%	122	3,964	120
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	61,344	0.0%	118	21	0.0%	117	12	0.1%	117	5,112	116
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	25,229,071	0.8%	42	10,679	5.3%	18	1,576	9.8%	23	16,008	77
1105 胃炎及び十二指腸炎	31,764,432	1.0%	32	15,928	7.9%	9	3,426	21.4%	10	9,272	98
1106 痔核	3,195,104	0.1%	95	865	0.4%	78	236	1.5%	78	13,539	81
1107 アルコール性肝疾患	2,019,397	0.1%	103	717	0.4%	86	117	0.7%	91	17,260	74
1108 慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	1,222,058	0.0%	109	802	0.4%	82	107	0.7%	92	11,421	93
1109 肝硬変 (アルコール性のものを除く)	1,774,740	0.1%	104	486	0.2%	88	118	0.7%	90	15,040	79
1110 その他の肝疾患	8,939,873	0.3%	75	3,262	1.6%	44	960	6.0%	37	9,312	97
1111 胆石症及び胆のう炎	13,340,081	0.4%	62	1,112	0.6%	74	305	1.9%	70	43,738	44
1112 膵疾患	12,641,404	0.4%	65	856	0.4%	79	209	1.3%	80	60,485	29
1113 その他の消化器系の疾患	156,658,864	4.9%	2	24,540	12.1%	3	3,518	22.0%	8	44,531	42
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	105,354,020	3.3%		26,871	13.3%		5,439	34.0%		19,370	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	8,346,724	0.3%	78	2,704	1.3%	50	972	6.1%	36	8,587	102
1202 皮膚炎及び湿疹	44,115,481	1.4%	25	17,569	8.7%	7	3,710	23.2%	6	11,891	91
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	52,891,815	1.7%	19	14,148	7.0%	12	3,184	19.9%	12	16,612	75
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	322,083,827	10.1%		38,115	18.9%		5,441	34.0%		59,196	
1301 炎症性多発性関節障害	51,847,658	1.6%	20	6,966	3.4%	27	990	6.2%	35	52,371	34
1302 関節症	83,699,496	2.6%	8	11,201	5.5%	17	1,529	9.6%	25	54,741	32
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	41,758,083	1.3%	27	8,661	4.3%	23	1,371	8.6%	29	30,458	54
1304 椎間板障害	21,527,215	0.7%	44	3,754	1.9%	40	714	4.5%	44	30,150	55
1305 頸腕症候群	3,712,548	0.1%	93	2,827	1.4%	47	466	2.9%	62	7,967	106
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	15,293,533	0.5%	55	8,253	4.1%	24	1,430	8.9%	28	10,695	94
1307 その他の脊柱障害	11,213,526	0.4%	70	1,428	0.7%	67	356	2.2%	67	31,499	52
1308 肩の傷害<損傷>	8,731,666	0.3%	77	3,887	1.9%	39	669	4.2%	49	13,052	84
1309 骨の密度及び構造の障害	30,637,958	1.0%	33	5,326	2.6%	33	624	3.9%	52	49,099	37
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	53,662,144	1.7%	18	9,577	4.7%	20	2,183	13.6%	20	24,582	63

※大分類毎の集計を **網掛け** 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を **網掛け** 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,184,770,320	202,084	16,005

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖系系の疾患	133,078,641	4.2%		11,372	5.6%		2,422	15.1%		54,946	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	14,485,776	0.5%	58	1,691	0.8%	63	406	2.5%	65	35,679	48
1402 腎不全	61,352,844	1.9%	13	1,523	0.8%	66	198	1.2%	81	309,863	5
1403 尿路結石症	7,293,545	0.2%	81	791	0.4%	83	245	1.5%	77	29,770	56
1404 その他の腎尿路系の疾患	16,001,112	0.5%	51	3,938	1.9%	38	1,013	6.3%	34	15,796	78
1405 前立腺肥大(症)	14,455,192	0.5%	59	2,689	1.3%	51	351	2.2%	69	41,183	45
1406 その他の男性生殖器の疾患	2,312,137	0.1%	101	242	0.1%	104	119	0.7%	89	19,430	69
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	5,454,598	0.2%	89	1,265	0.6%	71	297	1.9%	72	18,366	73
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	11,723,437	0.4%	67	1,375	0.7%	68	579	3.6%	53	20,248	67
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	15,210,023	0.5%		303	0.1%		109	0.7%		139,541	
1501 流産	812,899	0.0%	112	41	0.0%	115	24	0.1%	114	33,871	49
1502 妊娠高血圧症候群	651,989	0.0%	114	11	0.0%	119	8	0.0%	118	81,499	22
1503 単胎自然分娩	360	0.0%	123	1	0.0%	123	1	0.0%	123	360	123
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	13,744,775	0.4%	61	271	0.1%	101	96	0.6%	96	143,175	13
XVI. 周産期に発生した病態	16,875,776	0.5%		100	0.0%		48	0.3%		351,579	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	8,970,591	0.3%	74	59	0.0%	113	24	0.1%	114	373,775	4
1602 その他の周産期に発生した病態	7,905,185	0.2%	79	50	0.0%	114	31	0.2%	112	255,006	7
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	15,711,230	0.5%		865	0.4%		296	1.8%		53,078	
1701 心臓の先天奇形	2,503,692	0.1%	99	157	0.1%	109	57	0.4%	104	43,924	43
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	13,207,538	0.4%	63	728	0.4%	85	249	1.6%	76	53,042	33
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,804,861	1.6%		15,909	7.9%		4,166	26.0%		12,195	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	50,804,861	1.6%	21	15,909	7.9%	10	4,166	26.0%	3	12,195	90
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	149,548,669	4.7%		9,832	4.9%		3,223	20.1%		46,400	
1901 骨折	58,784,703	1.8%	14	2,514	1.2%	53	650	4.1%	50	90,438	20
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,228,701	0.2%	82	125	0.1%	110	71	0.4%	100	101,813	18
1903 熱傷及び腐食	1,270,035	0.0%	108	223	0.1%	105	103	0.6%	93	12,330	88
1904 中毒	1,571,822	0.0%	107	632	0.3%	87	294	1.8%	73	5,346	115
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	80,693,408	2.5%	10	7,111	3.5%	26	2,568	16.0%	16	31,423	53
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,522,658	0.2%		3,242	1.6%		569	3.6%		13,221	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	174,949	0.0%	117	37	0.0%	116	17	0.1%	116	10,291	96
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	25,118	0.0%	120	8	0.0%	120	5	0.0%	119	5,024	117
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,184,770,320	202,084	16,005

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	7,322,591	0.2%	80	3,197	1.6%	45	549	3.4%	56	13,338	83
X X II. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		1,037,526	0.0%		323	0.2%		55	0.3%		18,864	
9999	分類外	1,037,526	0.0%	111	323	0.2%	99	55	0.3%	105	18,864	70

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

第2期 新潟県建築国民健康保険組合 保健事業実施計画 (データヘルス計画)

編集・発行 新潟県建築国民健康保険組合
新潟市中央区川岸町3丁目17番地2
電 話 : 025-231-2856
F A X : 025-231-2936
E-mail : niigata@kenchiku-kokuho.jp